



能力開発 セミナーガイド 2025

2025年4月 → 2026年3月

企業の成長のカギは社員のスキルアップ
未来を切り拓く人材育成を支援します

目次

近畿職業能力開発大学校とは	p.2	よくあるご質問	p.40
能力開発セミナー受講のご案内	p.3	オーダーメイド型能力開発セミナーのご案内	p.41
能力開発セミナー年間実施カレンダー	p.4	オーダーメイド型能力開発セミナー実施実績	p.42
能力開発セミナー推奨コース体系	p.10	技術支援のご案内	p.43
コース内容		事業主推薦制度のご案内	p.45
機械系	p.12	各種支援制度のご案内	p.46
電気・制御系	p.18	生産性向上支援訓練のご案内	p.47
電子・情報通信系	p.21	高度ポリテクセンターのご案内	p.48
建築系	p.27	施設・設備利用のご案内	p.49
管理系	p.33	能力開発セミナー受講申込書	p.50
		能力開発セミナーキャンセル・受講者変更届	p.51

近畿職業能力開発大学校とは

近畿職業能力開発大学校は、厚生労働省が所管する独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構が職業能力開発促進法に基づいて設立した大学校です。

当大学校では、企業・事業主団体の人材育成・教育訓練である『**能力開発セミナー（在職者訓練）**』と、高校卒業者等を対象とした実践技術者及び生産部門のリーダーを育成する『**高度技能者養成訓練（学卒者訓練）**』を実施しています。

詳しくは、ホームページをご覧ください。



<https://www3.jeed.go.jp/osaka/college/>

貴社の人材育成・教育訓練を支援します！

p.3

企業の成長・発展には、競争力及び経営資源を強化する「人材育成」が欠かせません。

当大学校では、企業の生産現場で働く在職者の皆様が抱える課題解決のため、生産性の向上や業務の改善、新たな製品の創造に必要な専門知識と技能・技術を習得する『**能力開発セミナー**』を実施しています。

当大学校で実施した能力開発セミナーは、企業の方々から高い評価を得ています。

たとえば、2023年度に受講された約200事業所を対象とした満足度アンケート調査では、**事業主の93.6%、受講者の98.7%**から「満足した」との評価をいただいております。

当大学校の専門講師陣が指導にあたり、生産などの実習場やCADシステム、マシニングセンタ等の当校システム・機器を活用して実践的な能力開発を行っています。

ニーズに合った社員教育はいかがですか？

p.41

能力開発セミナーには、企業・事業主団体の人材育成ニーズに基づき設定された講座に、受講希望者を募集する**レディメイド型**（本ガイド掲載分）と、企業・事業主団体の皆様のご要望に合わせて実施する**オーダーメイド型**の2種類があります。

- ・本ガイドに掲載されているセミナーを受講させたいが、日程が合わない。
- ・社員教育を行いたいが、適切な研修が開催されていない。
- ・自社の教育ニーズに合った研修を実施したい。
- ・自社の施設・設備を使用して研修を実施したいが、講師がいない。

等々

このような課題を抱えておられる場合は、『**オーダーメイド型能力開発セミナー**』についてご相談ください。

技術支援のご案内

p.43

当大学校では、技術改良・改善、新技術や先端技術の導入、製品開発等に係る技術支援を行っています。

当大学校の施設・設備利用のご案内

p.49

企業・事業主団体の皆様が行う教育訓練や人材育成を目的とした研修の場として、当大学校の施設・設備の開放を行っています。

能力開発セミナー受講のご案内

※ 必ずお読みください。

研修場所

近畿職業能力開発大学校（一部のコースは研修場所が異なります）

研修時間

10:00～16:45（一部のコースは研修時間が異なります）

受講料

各受講料は消費税込みです。なお、振込手数料は別途ご負担ください。

定員

お申込みの時点で定員を超える場合は「キャンセル待ち」となります。また、受講希望者が少人数の場合は、中止させていただくことがあります。

申込方法と受講までの流れ

受講申込

お申込みはFAX・メール・オンラインフォームでの受付となります。

- ・受付 随時（巻末の受講申込書に必要事項を記入しFAX またはメールしてください）
- ・締切 原則として各コース開始日の14日前とさせていただきます。以降のお申込みはお問い合わせください。
- ・オンライン申し込みフォーム<外部リンク（Microsoft Forms）>



受理通知

お申込み後、受講の可否を郵送等にてお知らせします。

- ・「受理通知書」または「キャンセル待ち通知書」をお送りします。
- ・キャンセル待ちでも、受講可能になった場合は、電話にてご連絡します。電話連絡がない場合は、キャンセルが発生しなかったものとしてご了承ください。

受講案内

セミナー開始日の約1ヶ月前に受講案内をお送りします。

- ・受講票と請求書を送付します。

受講料

セミナー開始日の14日前（土日・祝日含む）までにお振込みください。

- ・受講料は消費税込みです。なお、振込手数料は別途ご負担ください。
- ・納入された受講料を他のコースへ振り替えることはできません。

キャンセル

セミナー開始日の14日前（土日・祝日含む）を過ぎてからのキャンセルは、受講料を全額ご負担いただきます。

- ・キャンセルの場合は、巻末の「キャンセル・変更届」に必要事項を記入等して、必ずFAX・メール等にてご連絡ください。

受講当日

受講票をご持参ください。

- ・受講票裏面に「実施会場」が記載されていますので、直接会場にお越しください。（教室変更の可能性があるので、初日は本館前の案内を確認ください）



お問合せ先



近畿職業能力開発大学校 E-mail:kinki-seisan@jeed.go.jp
援助計画課 TEL 072-489-2114 FAX 072-479-1751

能力開発セミナー年間実施カレンダー①

区分	訓練コース名	コース番号	定員(名)	受講料(円)	日程	2025年												2026年			頁				
						4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3								
機械系	設計に活かす3次元CAD ソリッドモデリング技術	MA 121	10	21,500	8/18(月) 8/19(火) 8/20(水) 8/21(木)																				
		MA 122			12/1(月) 12/2(火) 12/3(水) 12/4(木)																				
	2次元CADによる機械製図技術	MA 151	12	16,500	5/7(水) 5/8(木) 5/9(金)																				
		MA 152			10/6(月) 10/7(火) 10/8(水)																				
	実践機械製図	MA 171	10	15,000	5/19(月) 5/20(火) 5/21(水)																				
	手戻りを減らす構想設計技術	MA 191	12	27,500	8/4(月) 8/5(火) 8/6(水) 8/7(木)																				
	設計プロセス実践	MA 201	12	23,500	2026 3/23(月) 3/24(火) 3/25(水)																				
	治具設計の勘どころ	MA 211	10	20,000	2026 1/14(水) 1/15(木)																				
	マシニングセンタプログラミング 技術	MB 111	10	11,500	9/16(火) 9/17(水) 9/18(木)																				
	旋盤加工技術	MB 131	10	14,500	8/5(火) 8/6(水) 8/7(木)																				
	マシニングセンタ加工技術	MB 141	10	17,000	12/2(火) 12/3(水) 12/4(木)																				
	機械組立仕上げのテクニック	MB 151	10	18,000	8/5(火) 8/6(水) 8/7(木)																				
	フライス盤加工技術	MB 161	6	22,000	9/2(火) 9/3(水) 9/4(木)																				
	工具研削実践技術	MB 171	10	20,000	11/18(火) 11/19(水) 11/20(木)																				
	NC 旋盤プログラミング技術	MB 181	10	15,500	10/7(火) 10/8(水) 10/9(木)																				
精密測定技術	MD 111	10	11,000	4/15(火) 4/16(水)																					
	MD 112			5/20(火) 5/21(水)																					
	MD 113			6/24(火) 6/25(水)																					
	MD 114			11/4(火) 11/5(水)																					

能力開発セミナー年間実施カレンダー⑥

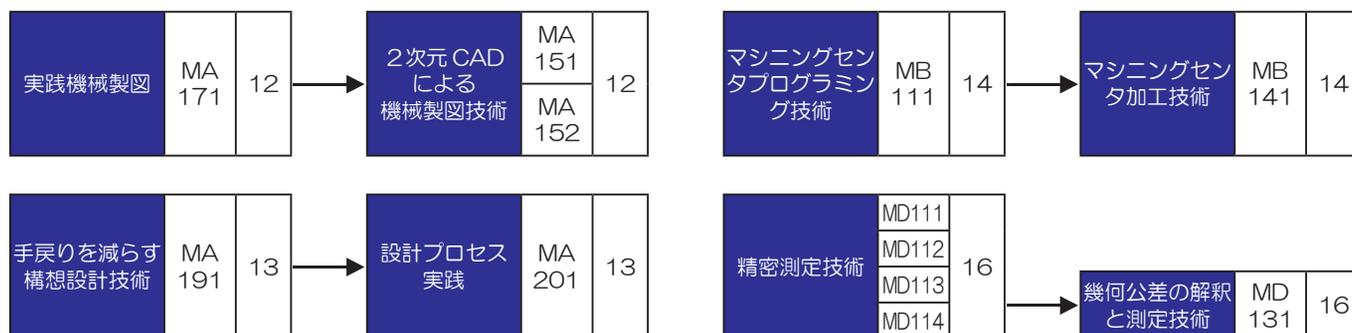
区分	訓練コース名	コース番号	定員(名)	受講料(円)	日程	2025年												2026年			頁				
						4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3								
管理系	製造現場担当者の実践力向上	PZ 151	15	14,500	4/7(月) 4/8(火)	■																		37	
	仕事と人を動かす現場監督者の育成	PZ 161	15	14,500	10/20(月) 10/21(火)								■												37
	生産現場で活用するリーダーシップ手法	PZ 171	15	13,500	10/23(木) 10/24(金)								■												38
	製造現場における生産実務と安全衛生	PZ 181	15	13,000	2026 1/19(月) 1/20(火)																		■		38
	技能継承と生産性向上のためのOJT 指導者育成	PZ 191	15	13,000	12/8(月) 12/9(火)																		■		38
	ヒューマンエラー防止実践手法	PZ 201	12	13,000	4/22(火) 4/23(水)	■																			39
PZ 202		8/5(火) 8/6(水)																							

能力開発セミナー推奨コース体系①

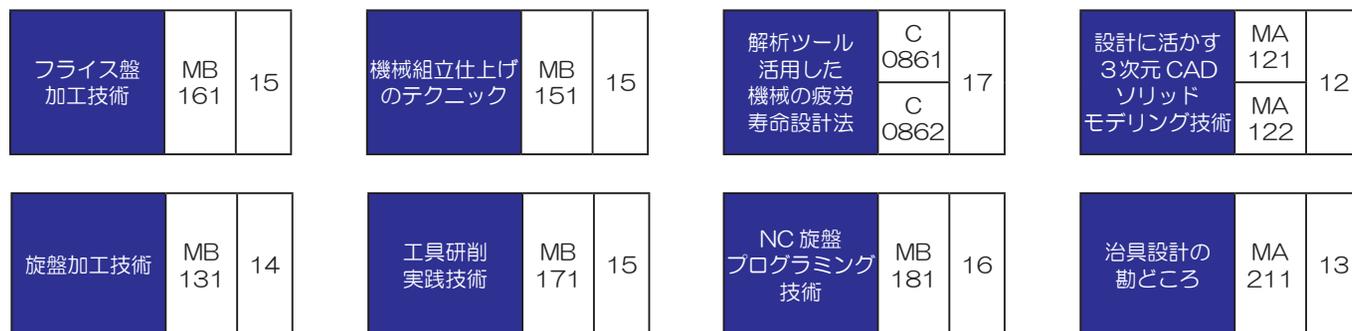
体系的に受講いただくことにより、技能・技術のさらなる向上が図れます。
管理系につきましては、いずれも単独のコースとして設定しています。

※左から訓練コース名、コース番号、頁数を記載しています。

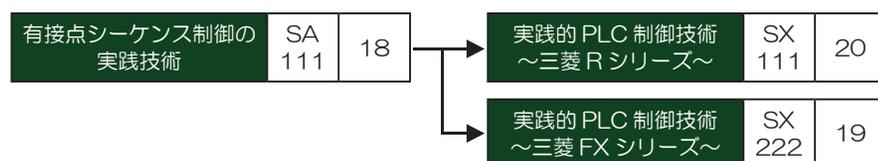
機械系



■単独で設定しているコース



電気・制御系



■単独で設定しているコース

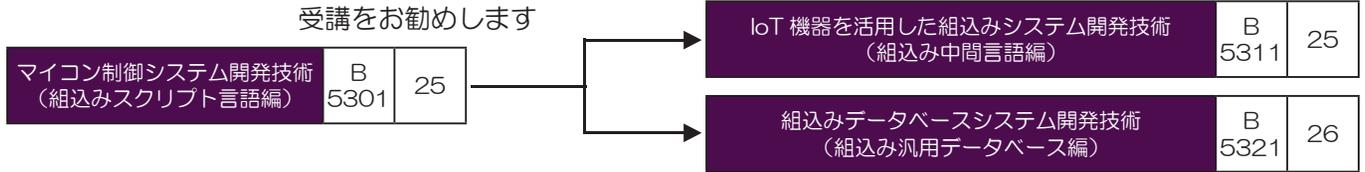


能力開発セミナー推奨コース体系②

※左から訓練コース名、コース番号、頁数を記載しています。

電子・情報通信系

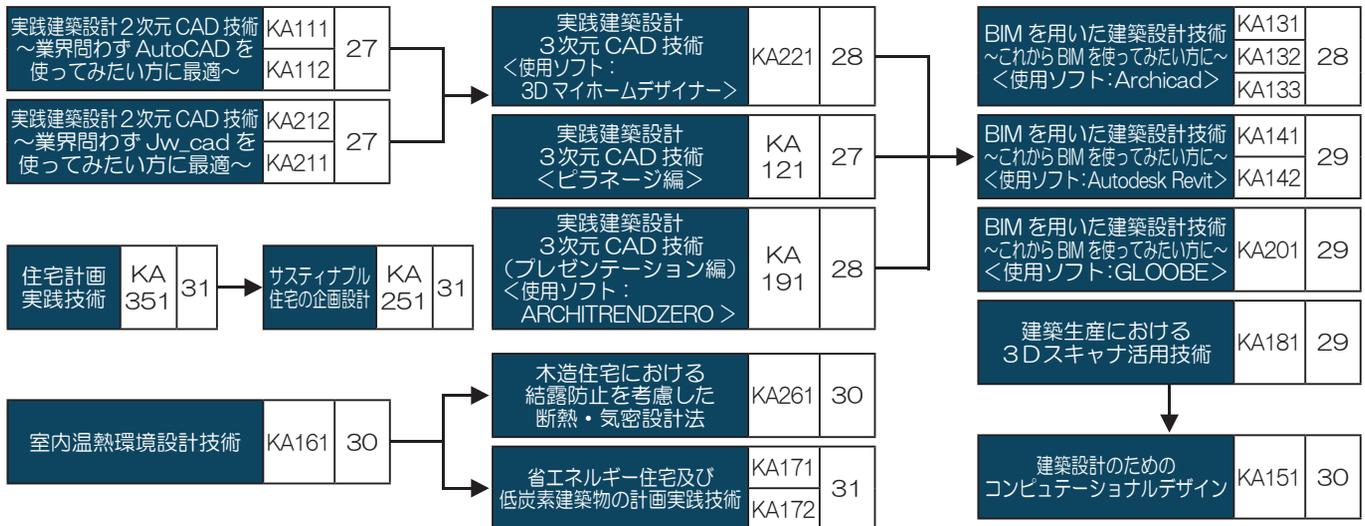
■右2コースの事前準備として
受講をお勧めします



■単独で設定しているコース

ディープラーニング システム開発技術	EA 281	23	IoT・センサネットワークの ための小電力無線技術 <BLE 編>	EA 191	22	HDL による回路設計技術	EA 341	23
マイクロソルダリング技術	EB111 EB112	25	リアルタイム OS による 組込みシステム開発技術 ～RaspberryPi～	EA 351	24	実習で学ぶ画像処理・認識技術 ～Python 言語編～	B 7901	26
オペアンプ回路の 設計・評価技術	EA141 EA142	22	RLC 回路の設計・評価技術	EA 231	22	ZigBee によるワイヤレス・ センサ・ネットワークの構築	EA 361	24
FET 回路の設計・評価技術	EA 371	24						

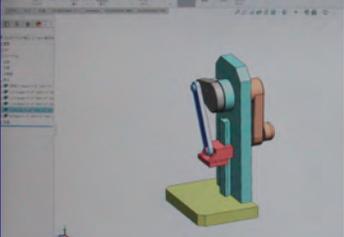
建築系



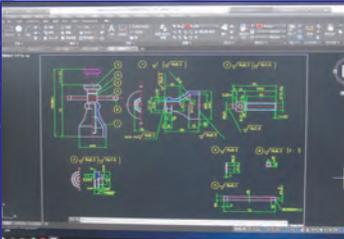
■単独で設定しているコース

地理情報システムの 運用技術	KA 241	32
-------------------	-----------	----

設計に活かす3次元CADソリッドモデリング技術

コース番号	MA121	MA122	訓練内容
日程	8/18(月) 8/19(火) 8/20(水) 8/21(木)	12/1(月) 12/2(火) 12/3(水) 12/4(木)	設計業務とこれによる製品の高付加価値化をめざして、「製品(部品)機能=フィーチャー」と捉えた3次元CADの活用方法と、組立検討法および図面作成法を習得します。 1. 設計とは 2. モデリング3箇条 3. 設計変更を考慮したモデリング 4. アセンブリ 5. 図面作成
訓練時間	24 時間		
定員	10 名		
受講料	21,500 円		
受講対象	製品設計・開発・生産技術業務に従事する技能・技術者		
使用機器	3次元CAD		
持参品	筆記用具		
受講者の声	今、困っていることが相談できた。少人数で受講できたので、講義がスムーズだった。		

2次元CADによる機械製図技術

コース番号	MA151	MA152	訓練内容
日程	5/7(水) 5/8(木) 5/9(金)	10/6(月) 10/7(火) 10/8(水)	機械設計における2次元CADの効果的な活用と、これによる生産性の向上をめざして、使用環境の構築、及び効率的な操作法について習得します。 1. 2次元CADの概要とデータ管理について 2. 設計・製図作業効率化のためのポイント (1) 画層とテンプレートの管理 (2) 2次元CADの操作法(作図機能、編集機能、応用作図機能) (3) 2次元CADの効果的な活用法(ブロック機能、レイアウト他) 3. 課題実習
訓練時間	21 時間		
定員	12 名		
受講料	16,500 円		
受講対象	機械設計作業に従事する方、または、2次元CADについて学びたい方		
使用機器	2次元CAD		
持参品	筆記用具		
受講者の声	応用まで学べ大変分かりやすく理解できた。2次元CADの操作が今まで以上に活用できる。		
備考	本コースの講習時間は、9:00~16:45です。		

実践機械製図 ~ JISに基づく機械製図を習得します ~

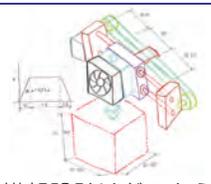
コース番号	MA171	訓練内容	
日程	5/19(月) 5/20(火) 5/21(水)	機械製図の現場力強化を目指して、機械製図の組立図及び部品図に関する総合的かつ実践的な知識、技能を習得します。 1. 製図一般 2. 機械製図上の留意事項 3. 実践的設計図面の描き方 4. 製図課題	
訓練時間	18 時間		
定員	10 名		
受講料	15,000 円		
受講対象	機械設計関連の業務に従事する方		
使用機器	製図道具		
持参品	筆記用具		
受講者の声	分からない記号があったが、今回の講習で理解できた。寸法記入の注意点、幾可公差の内容など、細かいルールについて理解することができた。今まで自己流の描き方だったので基本的なことを学べて良かった。		

手戻りを減らす構想設計技術 ～若手エンジニア必見！実習しながら学んでみよう～

コース番号	MA191	訓練内容
機械系	日程	8/4(月) 8/5(火) 8/6(水) 8/7(木)
	訓練時間	24 時間
	定員	12 名
	受講料	27,500 円
講師	COLORS (株) 技術顧問 /Koba Mechanical Design 小林 俊幸 (予定)	
受講対象	自身の設計品質向上を目指す方。設計チームの構成員として自立し、将来の設計チームのサブリーダーを目指す方。	
持参品	筆記用具、関数電卓	
受講者の声	知らない知識設計手順の勉強になった。 計算式が身に付いた。受講して学んだ事が自分の職場に戻った際に役に立ちそうです。受講して本当によかったです。 今までの仕事であいまいになっていた部分を明確にできた。	
		 <p>たわみ測定装置の考案</p>

機
械
系

設計プロセス実践 ～若手エンジニア必見！構想設計から部品選定の流れを理解しよう～

コース番号	MA201	訓練内容
機械系	日程	2026 3/23(月) 3/24(火) 3/25(水)
	訓練時間	18 時間
	定員	12 名
	受講料	23,500 円
講師	COLORS (株) 技術顧問 /Koba Mechanical Design 小林 俊幸 (予定)	
受講対象	構想設計に携わろうとする方と新規製品の設計プロセスを経験したい方。	
持参品	筆記用具、関数電卓、 J I S にもとづく機械設計製図便覧 (I S B N : 978-4-274-22787-5) 古いものでも可	
		 <p>構想設計はどこからはじめますか？</p>

治具設計の勘どころ

New

コース番号	MA211	訓練内容
機械系	日程	2026 1/14(水) 1/15(木)
	訓練時間	12 時間
	定員	10 名
	受講料	20,000 円
講師	COLORS (株) 商品開発事業部 船橋 隆光 (予定)	
受講対象	機械の設計・開発及び、自動化システムに従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者	
持参品	作業着 (上着のみで可)、筆記用具、関数電卓	

マシニングセンタプログラミング技術

コース番号	MB111	訓練内容
日程	9/16(火) 9/17(水) 9/18(木)	NC 工作機械で使用する NC プログラムを学びます。GコードやMコードなどの NC 言語やメインプログラム、サブプログラムの NC プログラムの構成などを中心にマシニングセンタで用いる NC プログラムを作成できる技能・技術を習得します。
訓練時間	18 時間	1. マシニングセンタ概要 2. NC プログラミング 3. 切削条件の選定 4. プログラミング実習
定員	10 名	※加工・段取りを含めて習得したい方は「MB141 マシニングセンタ加工技術」と一緒に受講することをお勧めします。
受講料	11,500 円	
受講対象	マシニングセンタのプログラムについて習得したい方	
使用機器	マシニングセンタ (FANUC ROBODRILL α-D14MiA)	
持参品	筆記用具、作業服	
受講者の声	Gコードで最初からプログラミングを行うことがなかったので、今回参加してよかった。プログラムの構成が理解でき自分の知識も増え作業の幅も広がり、うれしく思う。	



旋盤加工技術 ~業務で旋盤を使用したい方に最適です~

コース番号	MB131	訓練内容
日程	8/5(火) 8/6(水) 8/7(木)	汎用旋盤作業における各種加工及び工程（穴あけ、外径、内径）に関する知識と技能を習得します。
訓練時間	18 時間	1. 旋盤の概要 2. 穴あけ加工 3. 外径、内径加工 4. はめあい、各種公差の精度評価
定員	10 名	
受講料	14,500 円	
受講対象	生産技術部門（機械加工関係）に従事する若手技術者	
使用機器	汎用旋盤 (WASINO LEO80A)、各種切削工具、測定器	
持参品	筆記用具、作業服、作業帽子、安全靴、保護メガネ	
受講者の声	受講生 1 人につき 1 台の旋盤を与えてもらえて良かった。実習を多くできたので、身についたと思います。旋盤加工は初めてだったので、大変勉強になりました。切削速度の決め方をはじめて知ることができました。	



マシニングセンタ加工技術 ~段取り作業及び加工作業について基本から習得したい方に最適です~

コース番号	MB141	訓練内容
日程	12/2(火) 12/3(水) 12/4(木)	ツールセットの方法や各種補正值の設定方法等の段取り作業を習得します。また、ツーリングや治具・取付具、各種工具等に関する知識と、加工精度に影響する諸要因や各種加工のためのポイント等に役立つ技能・技術を習得します。
訓練時間	18 時間	1. ツール及びツーリングの種類と特徴 2. 治具・取付具の役割 3. ツールセットや各種補正值の設定方法 4. 加工実習 5. 各種補正值の修正 6. 加工後の評価・改善策の検討
定員	10 名	
受講料	17,000 円	
受講対象	製造部門・生産技術部門（機械加工系）をこれから担当する方、または「MB111 マシニングセンタプログラミング技術」を受講された方	
使用機器	マシニングセンタ (FANUC ROBODRILL α-D14MiA)	
持参品	筆記用具、作業服、関数電卓	
受講者の声	機械や工具の知識を身につけることができた。段取り作業の流れを知ることができ、知識が整理できた。	



機械組立仕上げのテクニック

コース番号	MB151	訓練内容	
日程	8/5(火) 8/6(水) 8/7(木)	技能高度化に向けた機械装置の仕上げ・組立・調整実習を通して、高精度で高能率な機械組立仕上げのテクニックを習得し、後進に作業をさせる際の指導法に必要な技能・技術を習得します。 1. コース概要及び留意事項 2. 課題図の検討 3. 工具・測定具の調整 4. やすり仕上げ 5. 組み立て調整	
訓練時間	18時間		
定員	10名		
受講料	18,000円		
受講対象	機械組立・調整業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者		
使用機器	やすり各種、きさげ各種、測定器具各種、定盤、けがき用具、直角度測定器		
持参品	筆記用具、作業服、作業帽子、安全靴、保護メガネ		

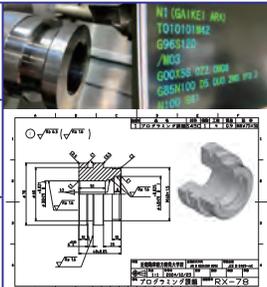
フライス盤加工技術 ～業務でフライス盤を使用したい方に最適です～

コース番号	MB161	訓練内容	
日程	9/2(火) 9/3(水) 9/4(木)	フライス作業における効率化・高精度加工化を目指して、条件設定や加工法の検討・段取りの方法を、各種加工技術による実践的な課題加工実習を通して習得します。 1. フライス盤加工における切削理論 2. 正面フライス加工技術実習 3. エンドミル加工技術実習 4. 総合課題実習	
訓練時間	18時間		
定員	6名		
受講料	22,000円		
受講対象	製造部門、生産技術部門（機械加工系）に従事する技術者		
使用機器	フライス盤（Etuki2MF）、各種切削工具、測定器具		
持参品	筆記用具、作業服、作業帽子、安全靴、保護メガネ、関数電卓（四則電卓でも可）		
受講者の声	少人数での講習で各人一台の機械に触れるので、ありがたいです。加工のやり方を詳しく教えてくれたので理解できた。		

工具研削実践技術 ～名工が指導するドリル研削の極意～

コース番号	MB171	訓練内容	
日程	11/18(火) 11/19(水) 11/20(木)	切削工具研削の現場力強化をめざして、ドリル研削を例として工具再研削および加工評価実習を通して、研削盤や砥石の選択、再研削の方法と再研削工具の性能評価するための技能・技術を習得します。 1. 工具活用技術 2. 研削技術実習 3. 工具研削と加工評価実習	
訓練時間	18時間		
定員	10名		
受講料	20,000円		
講師	坂井 利文（ものづくりマイスター / おうみの名工）（予定）		
受講対象	機械加工業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者		
使用機器	両頭研削盤、ボール盤、ドリル		
持参品	筆記用具、作業服、作業帽子、安全靴、保護メガネ		
受講者の声	本だけでは、良くわからなかった事柄が実際に、見本を見せてもらい教えてもらったので理解できました。今まで感覚で研いでいたのが、理論的に分かり、今後どのような練習を続けていけば良いかが分かった。また、職場で研げる人がかなり年配の方しかいなく、技術を身に付けるのが急務だったので役立った。アクリルの研ぎ方には感動しました。ドリル研削は動画でしか見たことがなく、わからない部分が今回のセミナーで知る事が出来た。		

NC 旋盤プログラミング技術

コース番号	MB181	訓練内容	
日程	10/7(火) 10/8(水) 10/9(木)	<p>NC 工作機械で使用する NC プログラムを学びます。G コードや M コードなどの NC 言語や加工のための NC プログラムの構成などを中心に NC 旋盤で用いる NC プログラムを作成できる技能・技術を習得します。</p> <p>1. NC 旋盤概要 2. NC プログラミング 3. 加工工程の検討 4. 切削条件の選定 5. プログラミング実習</p>	
訓練時間	18 時間		
定員	10 名		
受講料	15,500 円		
受講対象	NC 旋盤のプログラムについて習得したい方		
使用機器	NC 旋盤 (OKUMA LB3000EX II)		
持参品	筆記用具、作業服		

精密測定技術 ～信頼度を高める正確な測定技術を学びます～

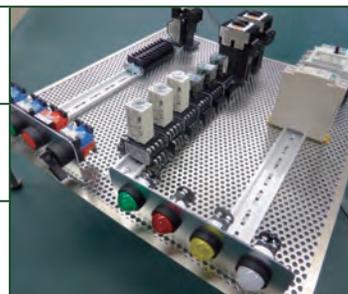
コース番号	MD111	MD112	MD113	MD114	訓練内容
日程	4/15(火) 4/16(水)	5/20(火) 5/21(水)	6/24(火) 6/25(水)	11/4(火) 11/5(水)	<p>信頼性の高いものづくりには、高度な加工技術だけでなく、それを評価し保証するための正しい知識と正確な測定技術が不可欠です。「モノをいかに正確に測るか」は、生産技術、優れた品質の原点です。実習を通して、測定知識と測定方法、注意すべき点等について、習得します。</p> <p>1. 測定の概要と重要性 2. 正しい取り扱いと測定方法 3. 測定実習 4. 定期検査・校正</p>
訓練時間	12 時間				
定員	10 名				
受講料	11,000 円				
受講対象	製造部門・生産技術部門（機械加工系）や測定・検査作業に従事する若手技術者				
使用機器	ノギス、マイクロメータ、ダイヤルゲージ、ブロックゲージ等				
持参品	筆記用具				
受講者の声	計測機器にそれぞれ意味があって、取り扱いルールが決められていることを改めて認識させられた。				

幾何公差の解釈と測定技術 ～幾何公差を理解し、使用頻度が高い幾何公差の測定方法を学びます～

コース番号	MD131	訓練内容	
日程	6/17(火) 6/18(水)	<p>測定作業の生産性の向上をめざして、最適化（改善）に向けた測定実習を通して、設計図面に記載される幾何偏差の測定を実現する手法と機械加工との関わりを明らかにし、幾何公差の解釈と測定技術に必要な技能・技術を習得する。</p> <p>1. 幾何公差の図示と解釈 2. 加工・測定と幾何公差との関わり 3. 主要な幾何偏差の測定技術とその実習</p>	
訓練時間	12 時間		
定員	10 名		
受講料	13,000 円		
受講対象	製品に関する開発・設計・生産技術・測定・検査等業務に従事する技能・技術者等		
持参品	筆記用具、関数電卓		

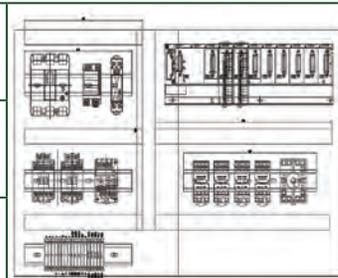
有接点シーケンス制御の実践技術

コース番号	SA111	訓練内容
日程	8/4(月) 8/5(火)	有接点シーケンス制御は、配電盤や制御盤にかかわる業務を行う上で欠くことのできない必須技術です。本コースでは、有接点シーケンス制御で用いられる制御機器の種類や使用方法を習得するとともに、実習を通して各種シーケンス制御回路を理解し、回路の設計・配線技術を習得します。 1. シーケンス制御の概要 2. 制御機器の種類と選定方法 3. 各種シーケンス制御回路 4. ランプのタイマー制御 5. トラブル対策
訓練時間	12 時間	
定員	10 名	
受講料	15,000 円	
受講対象	有接点シーケンス制御に関する技術を習得したい方	
使用機器	実習用制御盤（スイッチ、ランプ、リレー、タイマ等）、テスター	
持参品	筆記用具	



電気設計 CAD を活用した制御盤設計技術

コース番号	SA121	訓練内容
日程	8/5(火) 8/6(水)	電気設計 CAD (AutoCAD Electrical) を活用したシーケンス (PLC) 制御盤設計に必要な各種回路図および外観図の作成方法を課題を通して習得します。 1. 電気設計 CAD の基本操作 2. 主回路図の設計 3. PLC 制御回路設計 4. 制御盤・機器配置図設計 5. 端子配列表・布線表 (From/To リスト) 6. エレメカ連携の基本 (3DCAD ソフトとの連携)
訓練時間	12 時間	
定員	10 名	
受講料	11,000 円	
受講対象	制御盤設計・製図作業に従事する方、電気設計 CAD を学びたい AutoCAD の基本操作を習得されている方	
使用機器	パソコン、電気設計 CAD ソフト (AutoCAD Electrical 2024)、3次元 CAD ソフト (Inventor 2024)	
持参品	筆記用具	



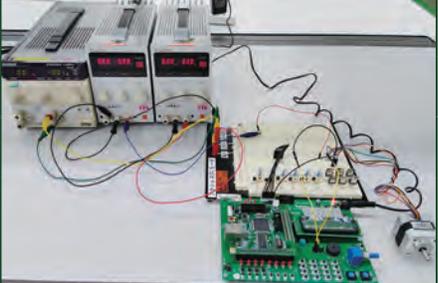
ロボットシミュレーション活用技術

コース番号	SA151	訓練内容
日程	6/7(土) 6/14(土)	パソコン用ロボットシミュレーションソフトを活用し、ロボットのプログラミングと教示作業を行う方法を習得します。 1. ロボットプログラム作成 (RT ToolBox3) 2. ロボットシミュレーション (RT ToolBox3) 3. ロボットの教示 (RF-2F-D) 4. ロボットの動作確認と修正
訓練時間	12 時間	
定員	7 名	
受講料	12,000 円	
受講対象	産業用ロボットの教示、ロボット言語 (MELFA-BASIC) によるプログラミングを習得したい方	
使用機器	多関節ロボット (三菱 RV-2F-D)、ロボットシミュレーションソフト (RT ToolBox3)	
持参品	筆記用具	



マイコンによるDC ブラシレスモータ制御技術

電気・制御系

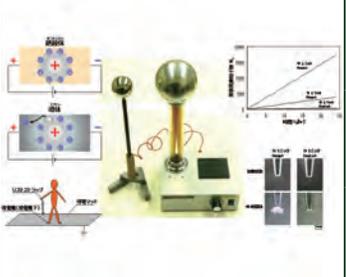
コース番号	SA191	訓練内容
日程	2026 1/22(木) 1/23(金)	DC ブラシレスモータの構造と動作原理及びプログラミング実習を通じて、DC ブラシレスモータ制御技術を習得する。 1. ブラシレスモータの構造と動作原理 2. マイコンの取り扱い 3. モータ制御のプログラミング 4. 動作実験
訓練時間	12 時間	
定員	6 名	
受講料	18,500 円	
受講対象	モータ制御システムの設計等に従事する予定の方	
使用機器	マイコンボード、モータ、電圧・電流の波形等測定器、電源	
持参品	筆記用具	
受講者の声	ブラシレスモータの制御については経験があったが、詳細について理解が浅かった。本講義を受けて、しっかりセンサー制御の関係を理解することができた。	

電気・制御系

静電対策と測定技術

New

電気・制御系

コース番号	SD111	訓練内容
日程	2026 1/22(木) 1/23(金)	電気・電子測定/電気・電子部品検査の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化(改善)、安全性向上に向けた静電気測定実習を通して、静電気を測定する方法やその発生の防止および対策法を実践的に習得します。 1. 静電気の概要 2. 静電気の発生 3. 静電気の理論 4. 静電気対策 5. 静電気の測定 6. 静電気防止管理
訓練時間	12 時間	
定員	10 名	
受講料	8,000 円	
受講対象	電子機器の製造等に従事する技能・技術者等および品質等管理者	
使用機器	静電気発生器(ヴァンデグラフ)、静電電圧計、箔検電器	
持参品	筆記用具	

実践的 PLC 制御技術 ～三菱 FX シリーズ～

電気・制御系

コース番号	SX222	訓練内容
日程	5/10(土) 5/11(日)	PLC(プログラマブル・ロジック・コントローラ)制御における回路作成技術及びプログラム保守に係る実務能力を実践的な総合課題を通して習得します。 1. PLC 制御の構成 2. PLC のプログラミング 3. 制御回路製作実習
訓練時間	12 時間	
定員	6 名	
受講料	13,500 円	
受講対象	生産設備の設計、または保守・保全業務に従事する方	
使用機器	サポートソフト(Gx Works2)、パソコン、三菱 PLC(Fx シリーズ)、制御対象装置、スイッチ、表示灯、工具	
持参品	筆記用具	

「実践組み込み技術講座シリーズ」は、研修効果をあげるため3コースの連続受講をおすすめします。

組み込み技術者のためのプログラミング ～「実践組み込み技術講座シリーズ」STEP1～

電子・情報通信系

コース番号	EA111	訓練内容
日程	7/31(木) 8/1(金)	実践的な組み込みシステム用マイコンの仕組みを理解し、開発に必要となるC言語プログラムの作成が行える技能・技術を導入します。 1. 組み込みシステムの開発環境 2. 開発技法と組み込みC言語プログラミング 3. Cプログラミング実習
訓練時間	12 時間	
定員	10 名	
受講料	13,000 円	
受講対象	組み込みシステムの設計・開発業務に従事する方	
使用機器	組み込み用ターゲットマイコンボード、開発用ホストコンピュータ(パソコン)、開発ツール、デバッガ	
持参品	筆記用具	
受講者の声	具体例も交えて聞けたので、改めて理解し整理することができた。実習を通じて、組み込みシステムを学べた。	



電子・情報通信系

マイコン制御システム開発技術 ～「実践組み込み技術講座シリーズ」STEP2～

電子・情報通信系

コース番号	EA121	訓練内容
日程	8/4(月) 8/5(火) 8/6(水)	実践的な組み込みシステム開発において必要となるC言語を用いて、マイコン内蔵機能モジュールの取扱いや割り込み処理をプログラムし、組み込み技術の全体像を習得します。 1. 組み込みC言語実習 2. マイコン概要と周辺回路 3. マイコン内蔵機能プログラミング 4. 割り込み処理プログラミング
訓練時間	18 時間	
定員	10 名	
受講料	12,000 円	
受講対象	組み込みシステムの設計・開発業務に従事する方で、何らかのプログラミング言語を使用した経験のある方。	
使用機器	組み込み用ターゲットマイコンボード、開発用ホストコンピュータ(パソコン)、開発ツール、デバッガ	
持参品	筆記用具	

組み込みシステム開発におけるプログラミング実践 ～「実践組み込み技術講座シリーズ」STEP3～

電子・情報通信系

コース番号	EA131	訓練内容
日程	8/7(木) 8/8(金)	実践的な組み込みシステムの開発において必要となるC言語による周辺装置制御方法、組み込みデバッグ技法等に関する技能・技術を習得します。 1. 組み込みC言語実習 2. プログラム開発技法 3. I/O制御プログラミング実習 4. 組み込みデバッグ技法
訓練時間	14 時間	
定員	10 名	
受講料	9,500 円	
受講対象	組み込みシステムの設計・開発業務に従事する方	
使用機器	組み込み用ターゲットマイコンボード、開発用ホストコンピュータ(パソコン)、開発ツール、デバッガ	
持参品	筆記用具	
備考	本コースの講習時間は、9:50～17:35です。	

オペアンプ回路の設計・評価技術

コース番号	EA141	EA142	訓練内容
日程	8/5(火) 8/6(水)	10/27(月) 10/28(火)	シミュレーションや計測結果による検証を通して、オペアンプ回路の設計技術とその評価技術を習得します。 1. オペアンプの知識 2. オペアンプ利用回路の知識 3. オペアンプ利用回路の設計方法 4. オペアンプ回路の設計・評価実習
訓練時間	12 時間		
定員	10 名		
受講料	13,000 円		
受講対象	電子回路の基本的な知識を有する方		
使用機器	パソコン、回路シミュレータ、直流電源、オシロスコープ、ファンクションジェネレータ		
持参品	筆記用具		

IoT・センサネットワークのための小電力無線技術 BLE 編

コース番号	EA191	訓練内容
日程	8/21(木) 8/22(金)	センサネットワーク技術を利用した IT アプリでは重要な役割をはたす Bluetooth Low Energy (BLE) 技術を習得します。 1. 省電力無線の種類と特徴 2. 伝送特性比較 3. システム構築総合実習 4. まとめ
訓練時間	12 時間	
定員	10 名	
受講料	13,000 円	
受講対象	センサを活用した計測・制御システムの設計に従事する方	
使用機器	BLE 対応マイコンボード、開発ツール、ブレッドボード、各種センサ	
持参品	筆記用具	
受講者の声	色々な無線規格の知識が身についた。	



RLC 回路の設計・評価技術

コース番号	EA231	訓練内容
日程	8/19(火) 8/20(水)	アナログ回路設計の生産性の向上をめざして、RLC 回路設計・測定実習を通して、電気回路の基礎理論や測定の操作技術及び評価技術を習得します。 1. 受動部品の知識 2. アナログ回路における受動部品の評価 3. 過渡応答特性 4. 周波数特性
訓練時間	12 時間	
定員	10 名	
受講料	10,500 円	
受講対象	アナログ回路の測定・製造に従事する技能・技術者	
使用機器	電子部品、オシロスコープ、マルチメータ、周波数特性器	
持参品	筆記用具 (お持ちであれば、関数電卓)	

リアルタイム OS による組み込みシステム開発技術 ～ワンチップマイコンでリアルタイム OS を習得～

電子・情報通信系

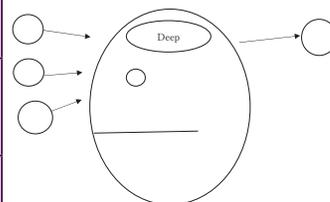
コース番号	EA241	訓練内容
日程	11/20(木) 11/21(金)	リアルタイム OS の各種システムコールの実習を通して組み込みマイコンのプログラミングを理解し、リアルタイムシステムの開発・設計技術を習得します。 1. 組み込みマイコン用リアルタイム OS の概要 2. タスク及びハンドラの記述 3. 各種機能の習得 (タスク管理、排他制御、同期・通信等)
訓練時間	12 時間	
定員	10 名	
受講料	8,500 円	
受講対象	組み込みシステムの設計・開発業務に従事する方で、何らかのプログラミング言語を使用した経験のある方。	
使用機器	組み込み用マイコンボード、開発用パソコン、開発ツール	
持参品	筆記用具	

電子・情報通信系

ディープラーニングシステム開発技術

電子・情報通信系

コース番号	EA281	訓練内容
日程	2026 3/16(月) 3/17(火)	ディープラーニングのフレームワークである Pytorch を用いて、データセット (例 MNIST、CIFAR-10 等) を利用した畳み込みニューラルネットワーク (CNN) の実装を通して利用技術を習得します。 1. DNN の概要 2. Pytorch 開発概要 3. Layer 構造 4. モデルの学習と推論
訓練時間	12 時間	
定員	5 名	
受講料	20,000 円	
受講対象	Pytorch を使ったディープラーニングフレームワークを習得したい方	
使用機器	開発環境 : GPU ボード、Pytorch、Python Jupyter notebook、Ubuntu	
持参品	筆記用具	



HDL による回路設計技術 ～プログラミングのようにデジタル回路の開発を～

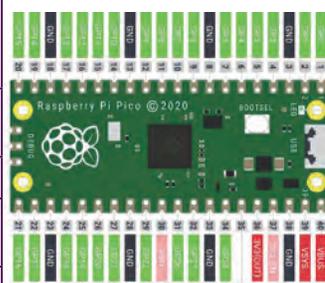
電子・情報通信系

コース番号	EA341	訓練内容
日程	2026 3/16(月) 3/17(火)	デジタル回路の設計は、論理設計、回路設計、試験回路の組み立て、バグ取り、といった面倒で時間のかかるものでした。論理プログラマブルデバイスである PLD や FPGA とハードウェア記述言語の出現により、開発フローは劇的に改善されました。このセミナーでは FPGA と Verilog を用いたデジタル回路の設計・開発技法を習得します。 1. ハードウェア記述言語 (HDL) 概要 2. モジュール設計 3. テストベンチの作成とシミュレーションの実行 4. カウンタの製作と動作実験 (デバッグ)
訓練時間	12 時間	
定員	10 名	
受講料	12,000 円	
受講対象	基礎的な論理回路及び C 言語によるプログラミングの知識を持ち、HDL を用いたデジタル回路の設計開発技術を習得したい方	
使用機器	パソコン、開発ツール、FPGA 開発ボード	
持参品	筆記用具	
備考	本コースの講習時間は、9:30～16:15 です。	

リアルタイム OS による組み込みシステム開発技術 ~ RaspberryPi を用いたリアルタイム OS を習得~

電子・情報通信系

コース番号	EA351	訓練内容
日程	2026 3/23(月) 3/24(火)	組み込み機器に搭載されることの増えてきたリアルタイム OS ですが、Windows など汎用 OS とは異なる特徴を持つため使い方にもコツがあります。開発ボードとして RaspberryPi を用いてリアルタイム OS とその取り扱いについて学びます。RaspberryPi はお持ち帰りいただきますので、継続した学習が可能です。 1. リアルタイム OS の概要 2. リアルタイム OS のインストール 3. プログラム開発環境 4. 制御プログラミング実習
訓練時間	12 時間	
定員	10 名	
受講料	12,000 円	
受講対象	基礎的な C 言語によるプログラミングの知識を持ち、ラズベリーパイを使ったリアルタイム OS とリアルタイム処理プログラミングを習得したい方	
使用機器	RaspberryPi、開発ツール、ブレッドボード、GPIO ターゲット、表示モジュール	
持参品	筆記用具	
受講者の声	具体例を交えて聞いたので、改めて理解し整理することができた。実習を通じて組み込みシステムを学べた。	
備考	本コースの講習時間は、9:30~16:15 です。	



電子・情報通信系

ZigBee によるワイヤレス・センサ・ネットワークの構築

電子・情報通信系

コース番号	EA361	訓練内容
日程	8/7(木) 8/8(金)	通信システム設計の新たな品質及び製品の創造をめざして、高付加価値化に向けた無線通信・制御プログラミングを通して、ワイヤレス・センサ・ネットワークの構築を習得します。 1. Zigbee の概要 2. Zigbee ネットワーク 3. Zigbee RF モジュール 4. センサとの連携 5. アプリケーションソフトの開発
訓練時間	12 時間	
定員	10 名	
受講料	18,500 円	
受講対象	センサを活用した計測・制御システムの設計に従事する方で、プログラミングの基本的な知識を有する方	
使用機器	ZigBee RF モジュール、各種計測機器、各種センサ、パソコン、開発ツール	
持参品	筆記用具	

F E T回路の設計・評価技術

New

電子・情報通信系

コース番号	EA371	訓練内容
日程	8/7(木) 8/8(金)	アナログ回路設計の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）に向けた、シミュレーションや計測結果による検証を通して、F E T回路の設計技術とその評価技術を習得します。 1. F E Tの知識 2. リニアモードの回路 3. スイッチモードの回路 4. F E T回路の設計・評価実習
訓練時間	12 時間	
定員	10 名	
受講料	12,000 円	
受講対象	電子機器の回路設計・開発に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者	
使用機器	各種計測機器、ブレッドボード	
持参品	筆記用具	

マイクロソルダリング技術

電子・情報通信系

コース番号	EB111	EB112	訓練内容
日程	7/31(木) 8/1(金)	12/16(火) 12/17(水)	デバイス・基板製造／実装組立の現場力強化及び技能継承をめざして、マイクロソルダリングの実習と評価を通して、高品質なはんだ付けを行うための技術について習得します。 1. はんだ付けと関連知識 2. はんだ付け実習と検証
訓練時間	12 時間		
定員	10 名		
受講料	17,000 円		
受講対象	マイクロソルダリング業務に従事する技能・技術者等		
使用機器	各種熱電対、はんだこて、顕微鏡		
持参品	筆記用具		

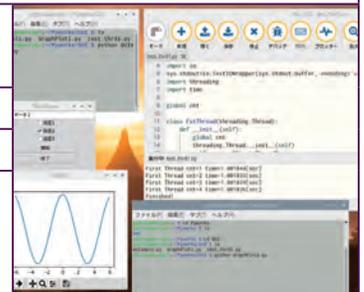


電子・情報通信系

マイコン制御システム開発技術（組み込みスクリプト言語編）～ RaspberryPi と Python 言語を用いた I/O 制御～

電子・情報通信系

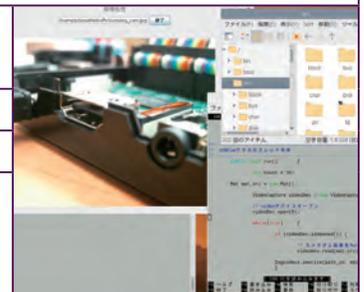
コース番号	B5301	訓練内容
日程	8/5(火) 8/6(水) 8/7(木)	RaspberryPi マイコンを使用して、LinuxOS 上で Python 言語によるマイコン制御システムの開発環境構築、I2C 通信、PWM 制御、I/O 制御などのプログラミング技術を習得します。 1. マイコン概要 2. 開発環境 3. マイコン周辺回路 4. 制御システム開発実習
訓練時間	18 時間	
定員	10 名	
受講料	15,000 円	
受講対象	業務で RaspberryPi マイコンを使用中、または使用予定がある方で、何らかのプログラミング言語を使用した経験のある方。	
使用機器	マイコン、センサ、サーボモータ、オシロスコープ、開発ツール	
持参品	筆記用具	
備考	本コースの開催場所及び申込は、ポリテクセンター関西（大阪府摂津市三島 1-2-1）です。 また、講習時間は、9：15～16：00 です。	



IoT 機器を活用した組み込みシステム開発技術（組み込み中間言語編）

電子・情報通信系

コース番号	B5311	訓練内容
日程	9/24(水) 9/25(木) 9/26(金)	IoT 機器である RaspberryPi マイコンを使用して、LinuxOS 上で Java 言語による組み込みシステムの開発環境構築、GUI、ネットワーク通信、Web サーバ構築などのプログラミング技術を習得します。 1. 組み込みシステムと IoT 2. 組み込み開発環境構築 3. Web サーバ実装と Web システム開発 4. Java 言語による GPIO 制御 5. 組み込みシステム総合実習
訓練時間	18 時間	
定員	10 名	
受講料	15,000 円	
受講対象	業務で RaspberryPi マイコンを使用中、または使用予定がある方で、何らかのプログラミング言語を使用した経験のある方。	
使用機器	パソコン、組み込みターゲットボード、Linux	
持参品	筆記用具	
備考	本コースの開催場所及び申込は、ポリテクセンター関西（大阪府摂津市三島 1-2-1）です。 また、講習時間は、9：15～16：00 です。	



実践建築設計2次元 CAD 技術

<使用ソフト：AutoCAD> ~業界問わずCADを使ってみたい方に最適~

建築系	コース番号	KA111	KA112	訓練内容	<p>実践的な建築図面作成業務の効率化および図面データの品質化を目指して、AutoCADによる実践的な作成方法を習得します。</p> <p>1. 設計の概要 2. 各種図面の構築手法と演習 3. 確認・評価</p>
	日程	4/23(水) 4/24(木)	12/22(月) 12/23(火)		
	訓練時間	12時間			
	定員	10名			
	受講料	10,500円			
	受講対象	AutoCADを使用した図等関連業務に従事する方			
	使用機器	AutoCAD			
持参品	筆記用具				



実践建築設計2次元 CAD 技術

<使用ソフト：Jw_cad> ~業界問わずCADを使ってみたい方に最適~

建築系	コース番号	KA212	KA211	訓練内容	<p>実践的な建築図面作成業務の効率化および図面データの品質化を目指して、Jw_cadによる実践的な作成方法を習得します。</p> <p>1. 設計の概要 2. 各種図面の構築手法と演習 3. 確認・評価</p>
	日程	5/24(土) 5/25(日)	8/4(月) 8/5(火)		
	訓練時間	12時間			
	定員	10名			
	受講料	11,000円			
	受講対象	Jw_cadを使用した図等関連業務に従事する方			
	使用機器	フリーソフト (Jw_cad)			
持参品	筆記用具				
受講者の声	<p>知らなかったコマンドを覚えることができた。 これまで製図は手書きで行っていたが、PCを使うことで大きな仕事が受けれるようになった。</p>				



建築系

実践建築設計3次元 CAD 技術 <使用ソフト：ピラネージ>

建築系	コース番号	KA121	訓練内容	<p>基本設計図作成の効率化を目指して、3Dマイホームデザイナーでモデリング作成、ピラネージによるペイントレンダリングでパースの作成を習得します。</p> <p>1. 概要 2. パースの作成 3. 3次元モデルによる検討 4. ペイントレンダリングの作成</p>	
	日程	9/27(土) 10/4(土)			
	訓練時間	12時間			
	定員	10名			
	受講料	11,500円			
	受講対象	木造住宅設計業務に従事する方			
	使用機器	3Dマイホームデザイナー、ピラネージ			
持参品	筆記用具				

実践建築設計3次元 CAD 技術 <使用ソフト：3D マイホームデザイナー>

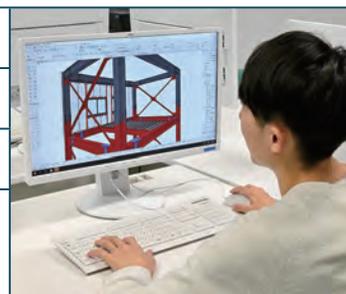
建築系	コース番号	KA221	訓練内容	
	日程	5/17(土) 5/24(土)	基本設計図作成の効率化を目指して、3D マイホームデザイナーを使って施主に対する提案を可視化する3次元のモデリング、外観・内観パースの作成方法について習得します。 1. 概要 2. パースの作成 3. 3次元モデルによる検討 4. プレゼン表現演習	
	訓練時間	12 時間		
	定員	10 名		
	受講料	12,000 円		
	受講対象	木造住宅設計業務に従事する方		
	使用機器	3Dマイホームデザイナー		
	持参品	筆記用具		
受講者の声	わからない使い方について理解が出来た。新しい使い方がわかった。テキストがカラーで見やすかった。具体的に教わることで操作が早くなった。			

実践建築設計3次元 CAD 技術<プレゼンテーション編> <使用ソフト：ARCHITRENDZERO> New

建築系	コース番号	KA191	訓練内容	
	日程	8/21(木) 8/22(金)	建築設計の新たな品質の創造をめざして、高付加価値化に向けた計画段階におけるエスキス実習・モデリングの作成を通して、3次元CADを用いた意匠設計に関する技術を習得します。 1. 概要 2. 各部材等の入力 3. 図面作成 4. 3次元モデリングの作成 5. パースの作成	
	訓練時間	12 時間		
	定員	10 名		
	受講料	12,000 円		
	受講対象	ARCHITRENDZERO を使用した図等関連業務に従事する方		
	使用機器	ARCHITRENDZER		
	持参品	筆記用具		
受講者の声				

BIM を用いた建築設計技術 <使用ソフト：Archicad> ~これから BIM を使ってみよう方に~

建築系	コース番号	KA131	KA132	KA133	訓練内容
	日程	8/7(木) 8/8(金)	12/25(木) 12/26(金)	2026 3/26(木) 3/27(金)	建築設計業務の効率性、生産性、品質を向上させることを目指し、設計実習を通して、BIM を活用した建築設計に関する技術を習得します。 1. コース概要及び留意事項 2. BIM の活用方法 3. 建築設計実習 4. 作成データの活用
	訓練時間	12 時間			
	定員	10 名			
	受講料	12,000 円			
	受講対象	BIM を使用した設計業務に従事する方			
	使用機器	Archicad			
	持参品	筆記用具			
受講者の声	BIM の概念と実際の現状について知ることができたので良かったです。BIM では何ができ何ができないのかがわかったことが1番良かったです。				



BIM を用いた建築設計技術 <使用ソフト：Revit> ～これからBIMを使ってみたい方に～

建築系	コース番号	KA141	KA142	訓練内容
	日程	5/13(火) 5/20(火)	8/4(月) 8/5(火)	建築設計業務の効率性、生産性、品質を向上させることを目指し、設計実習を通して、BIMを活用した建築設計に関する技術を習得します。 1. コース概要及び留意事項 2. BIMの活用方法 3. 建築設計実習 4. 作成データの活用
	訓練時間	12時間		
	定員	10名		
	受講料	12,000円		
	受講対象	BIMを使用した設計業務に従事する方		
	使用機器	Revit		
	持参品	筆記用具		
受講者の声	初めてRevitに触ったにもかかわらず、テキストと指導が分かりやすかったのでサクサク操作ができた。一人で作図するとなると、もっと理解を深めないといけませんでしたがしっかり学べたので、Revitは使えます。			



BIM を用いた建築設計技術 <使用ソフト：GLOOBE>

New

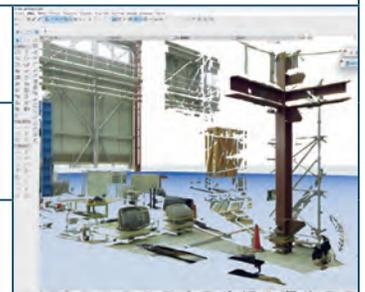
建築系	コース番号	KA201	訓練内容	
	日程	9/30(火) 10/1(水)	建築設計業務の効率性、生産性、品質を向上させることを目指し、設計実習を通して、BIMを活用した建築設計に関する技術を習得します。 1. コース概要及び留意事項 2. BIMの活用方法 3. 建築設計実習 4. 作成データの活用	
	訓練時間	12時間		
	定員	10名		
	受講料	12,000円		
	受講対象	BIMを使用した設計業務に従事する方		
	使用機器	GLOOBE		
	持参品	筆記用具		



建築生産における3Dスキャナ活用技術

New

建築系	コース番号	KA181	訓練内容	
	日程	2026 3/23(月) 3/24(火)	建築設計、建築施工の生産性向上をめざして、効率化に向けた3Dスキャナ技術を活用した実測実習を通して、リフォーム工事における図面作成・中間検査における検査精度向上のための技術を習得します。 1. コース概要及び留意事項 2. 3Dスキャナの原理と実例 3. 実測実習 4. 図面作成実習	
	訓練時間	12時間		
	定員	10名		
	受講料	8,500円		
	受講対象	建築設計及び建築施工に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者		
	使用機器	3Dレーザースキャナ、パソコン		
	持参品	筆記用具		



建築設計のためのコンピューショナルデザイン

コース番号	KA151	訓練内容
日程	6/4(水) 6/11(水)	建築設計の新たなデザインの可能性として、パラメーターを設定し、コンピュータ処理により形態を生み出していく手法を習得します。 1. コース概要及び留意事項 2. コンピューショナルデザインの活用方法 3. モデリング演習 4. 設計演習
訓練時間	12 時間	
定員	10 名	
受講料	14,000 円	
講師	BIM LABO (予定)	
受講対象	コンピュータを活用し、全く新しいデザインを創造していく設計業務に従事する方	
使用機器	ライノセラス、グラスホッパー	
持参品	筆記用具	
受講者の声	未知のデザインソフトであったが、仕組みや操作方法がよく分かった。外壁デザイン(割付)や勾配の判定は実務でも有効性があると感じた。色々なコンポーネントの使い方がわかった。モデリング時の省力化につながるなど感じた。	

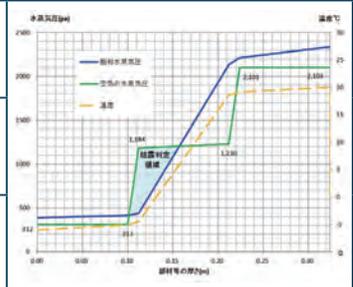
室内温熱環境設計技術

コース番号	KA161	訓練内容
日程	8/7(木) 8/8(金)	建築環境の新たな品質及び製品の創造をめざして、高付加価値化に向けた室内温熱環境の計画設計実習を通して、室内温熱環境の設計手法を習得する。 1. コース概要及び留意事項 2. 室内空間への要求 3. 室内気候と設備システム 4. 室内のデザインと温熱環境の関係 5. 室内環境計画の実習、発表 6. まとめ
訓練時間	12 時間	
定員	10 名	
受講料	9,000 円	
受講対象	建築計画や建築設備計画の業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者	
使用機器	温湿度計、風速計、パソコン	
持参品	筆記用具	



木造住宅における結露防止を考慮した断熱・気密設計法

コース番号	KA261	訓練内容
日程	8/21(木) 8/22(金)	住宅設計の新たな品質の創造をめざして、高付加価値化に向けた断熱設計実習を通して断熱気密工法と結露防止(防露)に関する技術を習得する。 1. コース概要及び留意事項 2. 結露防止のための断熱工法 3. 断熱設計実習 4. まとめ
訓練時間	12 時間	
定員	10 名	
受講料	8,500 円	
受講対象	住宅設計業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者	
使用機器	パソコン	
持参品	筆記用具、関数電卓	



省エネルギー住宅及び低炭素建築物の計画実践技術

New

コース番号	KA171	KA172	訓練内容
日程	8/30(土) 8/31(日)	10/11(土) 10/12(日)	建築設計において生産性の向上をめざして、最適化（改善）に向けた低炭素建築物の新築計画を通して建築物の省エネルギー基準及び低炭素建築物の認定基準を理解し建築計画手法を習得する。 1. コース概要及び留意事項 2. 見直し基準の概要 3. 住宅の省エネルギー基準 4. 使用基準 5. 低炭素建築物の新築計画 6. まとめ
訓練時間	12 時間		
定員	10 名		
受講料	8,000 円		
受講対象	建築設計の業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者		
使用機器	パソコン		
持参品	筆記用具、関数電卓		

住宅計画実践技術

New

コース番号	KA351	訓練内容
日程	2026 1/10(土) 1/17(土)	住宅計画の新たな高付加価値化に向けた計画を事例、演習を通して、サステイナブルな住宅の企画設計につながる技術を習得します。 1. 住宅地、住宅の配置計画、近隣住区 2. 平面計画 3. 細部計画、各部寸法 4. まとめ
訓練時間	12 時間	
定員	10 名	
受講料	13,500 円	
受講対象	住宅の設計及び施工に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担うもの又は候補者	
持参品	筆記用具	

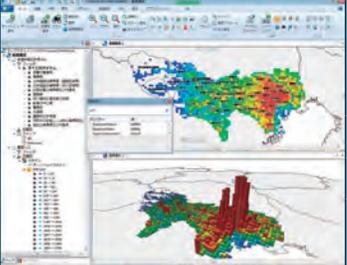
建
築
系

サステイナブル住宅の企画設計

コース番号	KA251	訓練内容
日程	2026 3/13(金) 3/14(土)	住宅の企画設計の新たな品質の創造を目指してサステイナビリティ（持続可能な）社会を踏まえ、ブレインストーミング方式により、サステイナブル住宅の企画・設計要素を習得します。 1. コース概要及び留意事項 2. サステイナビリティ社会と循環型社会 3. 住環境マネジメント（欧米の取り組み） 4. 資産としての住宅 5. まとめ
訓練時間	12 時間	
定員	10 名	
受講料	16,500 円	
講師	・近畿職業能力開発大学校 ・建築家 元京都橘大学教授 竹山清明（予定）	
受講対象	住宅の設計及び施工に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担うもの又は候補者	
持参品	筆記用具	



地理情報システムの運用技術

コース番号	KA241	訓練内容	
日程	8/21(木) 8/22(金)	建築情報支援の新たな品質及び製品の創造をめざして、高付加価値化に向けた地図を利用した情報管理システム、いわゆる地理情報システム（GIS）の運用技術を習得します。 1. 概論 2. 地理情報システムの操作と活用 3. データベース作成 4. カスタマイズ	
訓練時間	12 時間		
定員	10 名		
受講料	10,500 円		
講師	株式会社インフォマティクス（予定）		
受講対象	建築設計業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者またはその候補者		
使用機器	パソコン、GIS システムソフトウェア（SIS）		
持参品	筆記用具		
受講者の声	GIS について理解を深めることができ、仕事上地図を使うので今回の研修で応用力が高まった。		

Memo

生産機械設備の自動化技術

New

管理系

コース番号	PA011	訓練内容
日程	11/10(月) 11/11(火) 11/12(水)	<p>「省力、生産性向上、品質の安定化、技能の高度化と継承」に大きな変化を切望する製造業が、これから避けて通ることができないDX。中でも生産設備の全自動化のプロセスを圧延機の全自動化の具体例を参照します。これを受講者が担当する自社主要設備に置き換えて具体的に繋がります。</p> <p>テキストは文言ばかりでなく、多くの写真や図を載せており、話し合いもして、楽しく分かり易い工夫が随所にあります。又、受講者各自の構想を見せ合い、他社の参加者の考え方や意欲を互いに知り合い、刺激し合います。</p> <p>1. コース概要 2-1. 自動化の種類とここでの前提 2-2. 現在の生産方式 3. 要素技術 4. ハンドリング技術 5. アクチュエータ 6. 自動化のメカニズム 7. センサの活用 8. フローチャートで依頼する 9. 自動化システムの設計の前に 10. 自動化設計 例「厚板圧延設備自動化」 11. 自動化設計「それぞれの自動化」</p>
訓練時間	21 時間	
定員	15 名	
受講料	21,000 円	
講師	(株)モア・クリエイト 代表取締役 天方 健二 (予定)	
受講対象	生産ライン・製造設備の自動化・省力化業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者	
持参品	筆記用具	
備考	本コースの講習時間は、9:00～16:45です。	



製造現場改善の IE 活用技術 ～改善リーダーのためのムダ取り指導方法～

管理系

コース番号	PX121	訓練内容
日程	5/27(火) 5/28(水)	<p>製造現場に潜む様々なムダの発見と改善方法を学ぶものです。生産期間の短縮、稼働率の向上、サイクルタイム短縮、段取り作業改善、レイアウト改善等で使われるIE手法を体得していただきます。IE手法は、製造現場の責任者だけでなく生産管理者にも要求されるものです。</p> <p>※IE(アイ・イー)を実習と演習で習得していただきます</p> <p>1. IE(アイ・イー)の概要及び留意事項 ①目的と考え方など 2. IE分析手法 ①IE分析手法の体系 3. IE分析実習 ①段取り改善 4. IE分析演習 ①サイクルタイムの削減 ②レイアウト改善 5. まとめ</p>
訓練時間	12 時間	
定員	12 名	
受講料	11,000 円	
講師	(株)実践マネジメント研究所 代表取締役 植條 英典 (予定)	
受講対象	製造業における生産活動に従事する技能・技術者	
持参品	筆記用具、会社案内または会社パンフレット	
受講者の声	ワードの意味や分析方法の理解が深まった。課題解決につながる手法を学ぶことができました。	



管理系

生産現場に活かす品質管理技法(QC7つ道具と統計的解釈)～現場で使うQC7つ道具を表計算ソフトで作成～

管理系

コース番号	PX161	訓練内容
日程	5/27(火) 5/28(水)	<p>科学的な管理手法として統計的手法を活用した品質管理の各種手法について学びます。</p> <p>1. 品質管理概要 2. 統計的手法を活用した製造・検査工程の品質向上 3. 生産現場に活用できる応用課題実習</p>
訓練時間	12 時間	
定員	10 名	
受講料	13,500 円	
講師	道廣 敬治 (予定)	
受講対象	生産効率や品質向上に関し業務改善等の業務に従事する技能・技術者	
持参品	筆記用具	
受講者の声	データの管理も Excel を使いこなせば幅広い分析ができることが分かった。 講師の説明が非常に分かりやすかった。	



成功事例から学ぶ品質の維持と向上

コース番号	PX181	訓練内容
日程	7/8(火) 7/9(水)	品質管理の生産性の向上をめざし、品質改善のための手法の理解を通じて、品質管理の重要性と有用性を習得します。 1. 品質概論 2. 品質管理の取り組み 3. 品質管理演習 4. 事例と演習から学ぶ品質向上
訓練時間	12 時間	
定員	15 名	
受講料	14,500 円	
講師	(株) MxE コンサルティング 取締役 藤尾 翔太 (予定)	
受講対象	生産現場の品質管理業務に従事する技能・技術者など	
持参品	筆記用具	
受講者の声	品質に関して様々な視点から考え学ぶことができました。 問題のとらえ方、解決への考え方が学べました。 グループ討議でたくさんの意見が聞くことができて良かった。	



製造現場の業務改善のための問題解決技法

コース番号	PX191	訓練内容
日程	2026 1/26(月) 1/27(火)	生産性の向上をめざし、製造現場の諸問題の解決のための進め方・考え方について学びます。 1. 製造現場の問題解決とは 2. 問題発見のポイント 3. 原因の究明対策の実施 4. 業務改善の進め方 5. 総合演習 6. 総括及び評価
訓練時間	12 時間	
定員	15 名	
受講料	14,500 円	
講師	(株) MxE コンサルティング 富安 航生 (予定)	
受講対象	生産現場の運営・管理・改善業務に従事する技能・技術者	
持参品	筆記用具	
受講者の声	実際にあった事例を紹介して頂いたので分かりやすかった。 不具合が発生した場合の原因追及に大いに活用できる内容だった。 問題解決に役立つとともに、楽しい講義だった。	



新 QC7 つ道具活用による製造現場における品質改善・品質保証 ～社内不良とクレームの再発防止策を説明します～

コース番号	PX221	訓練内容
日程	7/22(火) 7/23(水)	新 QC7 つ道具の使い方を学び、製造現場での品質改善と品質保証について検討するものです。新 QC7 つ道具は、言語データを用いて問題の解決を図っていく手法です。定性的問題（再発防止策が困難な不良）に向いています。演習を中心に行いますが自社の問題点についても検討していただきます。 1. 品質管理と品質保証のあり方 2. 製造現場における品質改善の方法 3. 効果ができるクレームの再発防止策の進め方 4. まとめ
訓練時間	12 時間	
定員	12 名	
受講料	11,000 円	
講師	(株)実践マネジメント研究所 代表取締役 植條 英典 (予定)	
受講対象	生産現場の品質管理業務に従事する技能・技術者	
持参品	筆記用具、会社案内または会社パンフレット	
受講者の声	とても和気あいあいとした雰囲気の中で楽しく学べた。 道具についての使い方や見えなかった事象が分かってきて楽しかった。 新 QC 7 つ道具が理解でき、非常に良かった。	



なぜなぜ分析による真の要因追求と現場改善

コース番号	PX271	PX272	訓練内容
日程	5/20(火) 5/21(水)	12/4(木) 12/5(金)	工程管理 / 技術管理の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）、安全性向上に向けて、問題の真の要因を原理・原則に基づいて追求し、三現主義（現場・現物・現実）で現場改善を実践する手法を習得します。 1. 問題解決の進め方 2. なぜなぜ分析 3. 工程の原理・原則 4. ポカミス防止 5. グループ実習
訓練時間	12 時間		
定員	15 名		
受講料	14,500 円		
講師	(株) MxE コンサルティング 富安 航生（予定）		
受講対象	工場管理、生産管理、物流管理に従事する技能・技術者		
持参品	筆記用具		
受講者の声	チームを作りリーダーを決めて進めていくスタイルがよかった。チームで協力して問題を解決していく大切さに気付きました。 自社でもある事例を題材にして教えていただけたので理解しやすかった。 単純に知識を得るだけでなく使い方を学ぶことができた。 自分では出てこなかった解決案が出てきた。現場のQCサークルに活用できそう。		

実践生産性改善 ～現場の生産性向上対策を具体的に説明します～

コース番号	PX281	訓練内容	
日程	2026 3/17(火) 3/18(水)	生産性と安全性の向上を図るための考え方、改善方法、評価方法を学ぶものです。疑似ラインによるリードタイム短縮、工数削減、省力化、レイアウト改善方法を改善プログラムに基づいて体得していただきます。改善の評価方法についても説明します。ビデオ撮影による作業改善方法もご案内します。 1. 製造業の背景…生産性向上の必要性 2. 生産性向上のための現場運営の視点 3. 機械加工場の生産性向上対策 4. ライン生産での生産性向上対策 5. 組立作業場の生産性向上対策 6. まとめ	
訓練時間	12 時間		
定員	12 名		
受講料	11,000 円		
講師	(株)実践マネジメント研究所 代表取締役 植條 英典（予定）		
受講対象	生産現場の運営・管理・改善業務に従事する技能・技術者		
持参品	筆記用具、会社案内または会社パンフレット		
受講者の声	現場に近い観点での利益分析と製造の問題の解決方法のヒントをたくさんいただいた。いろいろな意見を聞くことで違う方向性で改善できると感じました。とても分かりやすい説明で理解しやすく、解決の糸口が見つかりました。		

製造業における実践的生産管理 ～改善マインドをもった人材の育成～

New

コース番号	PX291	訓練内容
日程	8/28(木) 8/29(金)	原理・原則を無視した、特定個人の経験と勤に依存している生産管理の実態から脱却するために、効率的な製造活動を実現するためのあるべき生産管理について実践的に習得し、製造活動におけるさまざまな課題に取り組むことができる能力を習得します。 1. 生産管理とは (1) 生産管理の概要 (2) 各業務別管理の要点 2. 生産管理の実態 (1) 製造企業の生産管理業務の考え方（事例中心） (2) 自社において困っておられる生産管理の問題点と改善方針 3. 生産管理実習 (1) 生産期間短縮のための課題と具体化方針
訓練時間	12 時間	
定員	12 名	
受講料	13,000 円	
講師	AEコア(株) 代表取締役 河村 一郎（予定）	
受講対象	製造現場における生産管理等の業務に従事する技能・技術者であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者	
持参品	筆記用具	

製造現場で活用するコーチング手法

コース番号	PZ111	PZ112	訓練内容
日程	5/22(木) 5/23(金)	11/6(木) 11/7(金)	製造現場で日々発生する安全・生産性・デリバリーの課題に対して、どのような解決策があるのでしょうか？また、職場内のコミュニケーション不足が原因で、モチベーションが上がらず、当たり前に行えない職場になっていませんか？本コースでは、製造現場に特化した「コーチング術」を事例や演習を通じて習得します。 1. コーチングとは・・・コーチングの意味と活用の歴史 2. コーチングとティーチングは正しい使い分けが効果的 3. コーチングの対象者とコーチングのメリット・デメリット 4. 効果的なコーチングに必要な基本スキル ・「傾聴」のスキルで相手との信頼関係を築く ・「承認」のスキルでやる気を引き出し相手の可能性を拓く ・「質問」のスキルで相手の期待感を高め行動に変える 5. テイラーメイドコーチングの鍵「4つのタイプ分け」を学ぶ 6. コーチングの実践 7. コーチングによるマネジメント 8. まとめと行動宣言
訓練時間	14 時間		
定員	15 名		
受講料	15,000 円		
講師	G-Up Coaching 代表 葛巻 直樹 (予定)		
受講対象	生産現場における生産管理等の業務に従事する技能・技術者		
持参品	筆記用具		
受講者の声	人との関わり方、話す距離感を知識として学べた。相手の気付きを導き出せるような話ができるように努めていきたいです。		
備考	本コースの講習時間は、9:00～16:45です。		



現場の安全確保（5S）と生産性向上 ～5Sによる安全対策とコストダウンを学ぶ～

コース番号	PZ121	PZ122	訓練内容
日程	6/3(火) 6/4(水)	2026年 2/17(火) 2/18(水)	生産現場における生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）、安全性向上に向けた現場の問題把握・改善技法及び後輩育成のための指導技法を習得します。 ※5S改善での安全対策とムダ取り方法を事例を挙げて説明します 1. 経営者が望む5Sの目的と目標 2. 来客者は製造現場のどこを見ているのか 3. 5S改善による安全対策の進め方と事例紹介 4. 5S改善による不良防止・在庫削減・時間短縮方法 ※各々のムダ取りについて事例を紹介します 5. まとめ
訓練時間	12 時間		
定員	12 名		
受講料	12,500 円		
講師	(株)実践マネジメント研究所 代表取締役 植條 英典 (予定)		
受講対象	品質管理や生産管理の業務に従事する技能・技術者		
持参品	筆記用具、会社案内または会社パンフレット、職場危険個所の写真2枚(任意)		
受講者の声	実技でいろいろな考え方で物事を見ることができた。工数削減、生産性向上につながった。		



製造現場における部下育成に必要な指導能力及び技法

コース番号	PZ131	PZ132	訓練内容
日程	6/12(木) 6/13(金)	12/4(木) 12/5(金)	グループワークを通じて、現場リーダーに必要な指導能力や技法について習得します。また現場改善策についても課題解決のステップを通して学びます。指導者に求められる役割・能力（リーダーシップ）の重要性についても身に付けられます。 1. 製造現場における人材育成の重要性 2. 部下育成に必要な基本事項 3. 問題・課題解決をする上でのポイント 4. 指導者に求められる役割・能力 5. 事例演習 6. 総括
訓練時間	12 時間		
定員	15 名		
受講料	13,500 円		
講師	G-Up Coaching 代表 葛巻 直樹 (予定)		
受講対象	生産現場における生産管理等の業務に従事する技能・技術者		
持参品	筆記用具		
受講者の声	部下への教育や指導で自分がネックになっている所を教えて頂き大変ためになりました。略されている言葉の意味や今更聞けない内容も細かく教えてくれたので大変良かったです。コーチングについてワーク中心で勉強したため、職場ですぐに活かせる。		



技能伝承のための部下・後輩指導育成 ～技術・技能伝承を先送りしない！技能伝承の課題を解決～

コース番号	PZ141	訓練内容
日程	9/18(木) 9/19(金)	ものづくりに必要な技術は、人を通してでないと伝承できません。現在高度な技術を持つ人材はどんどん高齢化してきており、この技能を効率よく部下・後輩に伝承することが焦眉の急となっています。高度技能を持った人材が、その持てる技能を部下・後輩に効率よく伝承する人材の育成法を学びます。 1. 技能伝承の原則 2. 技能伝承がうまくいかない原因とは 3. 技能伝承の進め方 4. 暗黙知の扱い方 5. 熟練者へのインタビューの具体的な進め方 6. 能力項目リストについて 7. 技能伝承のための計画作成 8. 技能伝承で「教える側」「教わる側」が注意すべきこと 9. まとめ
訓練時間	12 時間	
定員	15 名	
受講料	13,500 円	
講師	G-Up Coaching 代表 葛巻 直樹（予定）	
受講対象	品質管理や生産管理の業務に従事する技能・技術者	
持参品	筆記用具	
受講者の声	具体的な伝承方法を教わり、社内に展開する際の土台を構築することができた。多能工化推進に役立つので、このコースで学んだ教育手法を職場で取り入れたい。自分が担当していた業務を若い社員に教える時に「業務の言語化」が大切であることがわかった。	



製造現場担当者の実践力向上

コース番号	PZ151	訓練内容
日程	4/7(月) 4/8(火)	製造現場における生産性の向上をめざして、製造現場担当者の問題発生時対処の迅速化及び、積極的に問題解決と意思決定していくための手法を習得します。 1. オリエンテーション 2. 製造業現場における担当者の必須スキル 3. 製造現場での着眼点 4. 製造現場での自身の行動課題演習
訓練時間	12 時間	
定員	15 名	
受講料	14,500 円	
講師	(株) MxE コンサルティング 代表取締役 松嶋 清秀（予定）	
受講対象	報連相や現場の規律を再確認し、仕事の進め方のレベルアップをはかりたい方	
持参品	筆記用具	



仕事と人を動かす現場監督者の育成

コース番号	PZ161	訓練内容
日程	10/20(月) 10/21(火)	製造現場における作業段取りや指示、後進育成などの技能伝承を目指して、現場のリーダーとして身につけておく基本スキルを確認し、監督者として担当者との関わり方や仕事と現場を動かしていくためのポイントを習得します。 1. 現場監督（主任）の役割 2. 現場監督（主任）に求められている事 3. より良い現場監督（主任） 4. 自己啓発計画書の演習
訓練時間	12 時間	
定員	15 名	
受講料	14,500 円	
講師	(株) MxE コンサルティング 代表取締役 松嶋 清秀（予定）	
受講対象	現場監督者または監督候補者（実務経験を5年以上有する技能・技術者が望ましい）	
持参品	筆記用具	



生産現場で活用するリーダーシップ手法 ～成果が出せるチーム作りに必要なリーダーシップを目指して～

コース番号	PZ171	訓練内容
日程	10/23(木) 10/24(金)	現在の製造現場では、“安全・品質・生産性・コスト・納期・3S・品質改善・生産性改善・部下指導”に対する能力が高く求められるようになり、強い意志や能力、専門的な知識が益々求められるようになっていきます。一方足下では、自らも仕事を持っていたりして、十分に管理監督に時間や能力を割くことができません。部下が育ち、率先して動くチームであれば、心に余裕を持てるでしょう。しかし現実には全くそのようにはなっておらず仕事の負荷は高まり部下やチームに対する不満やイライラは募るばかり・・・。そのようなチームにつける薬は共感力を伴ったリーダーのあり方です。本コースでは、共感的なリーダーのあり方（サーバントリーダーシップ）からハラスメントを生まない部下とのコミュニケーション（アンガーマネジメント）、職場の品質、生産性を向上させる具体的な改善手法と部下と共にすすめる改善活動（チーム活動）を学びます。 1. コース概要及び留意事項 2. 生産現場とリーダーシップ 3. 現場管理者がめざすもの 4. リーダーシップの要点 5. 共感的リーダーシップの必要性 6. リーダーが身につけるべき対話術 7. 主体的活動を生み出すチーム活動のすすめ 8. 生産現場における事例演習 9. まとめ
訓練時間	12 時間	
定員	15 名	
受講料	13,500 円	
講師	G-Up Coaching 代表 葛巻 直樹（予定）	
受講対象	生産現場における生産管理等の業務に従事する技能・技術者	
持参品	筆記用具	
受講者の声	リーダーとして部下への関わり方について新たな発見がありました。	



製造現場における生産実務と安全衛生

コース番号	PZ181	訓練内容
日程	2026 1/19(月) 1/20(火)	工業製品製造における生産計画／生産管理の業務を通して生産性向上を目指して、最適化（改善・改革）、安全性向上に向けた業務に携わる方のためのセミナーです。これらの担当者が、作業手順書の作成及び安全衛生業務の演習・実習を通して、新人や未習熟者に手順書に従った作業を指導し、かつ、安全対策・危険予知の指導ができる技能を習得します。 1. コース概要及び留意事項 2. 熱間圧延設備の設備構成要素 3. 同設備のDX「全自動化」によるオペレーション 4. 技術文書作成の要点 5. 安全衛生管理の業務内容 6. 危険予知活動の方法 7. まとめ「今日の成長を明日からの業務につなぐ」
訓練時間	12 時間	
定員	15 名	
受講料	13,000 円	
講師	(株)モア・クリエイト 代表取締役 天方 健二（予定）	
受講対象	製造業務に従事する技能・技術者であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者	
持参品	筆記用具、電卓（又は携帯電話の電卓機能）	



技能継承と生産性向上のためのOJT 指導者育成

コース番号	PZ191	訓練内容
日程	12/8(月) 12/9(火)	生産現場において、現場力強化及び技能継承をめざして業務に携わる指導者が、技能の一層の高度化に向けた能力要件を作成し、かつ、人材育成計画の作成法、作業分析手法、技能指導法（OJT 指導法）を習得します。 1. コース概要及び留意事項 2. 人材育成実施の要件 3. 人材育成計画作成法 4. 演習：OJT 人材育成計画の実際 5. 作業分析法の例「ワークサンプリング」を知る 6. 演習：「ワークサンプリング」で作業分析を行う 7. まとめ「今日の成長を明日からの業務につなぐ」
訓練時間	12 時間	
定員	15 名	
受講料	13,000 円	
講師	(株)モア・クリエイト 代表取締役 天方 健二（予定）	
受講対象	製造業務に従事する技能・技術者であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者	
持参品	筆記用具、電卓（又は携帯電話の電卓機能）	



よくあるご質問

Q1 セミナーの申込み方法は？

A

お申込みはFAX・メールで受け付けております。
「能力開発セミナー受講のご案内」（3ページ）をお読みいただき、巻末の受講申込書やHPにある申込書に必要事項をご記入のうえ、FAX・メール・オンラインフォームにて送信してください。

Q2 セミナーの応募状況を知りたい場合は？

A

お電話・メールでお問い合わせください。コースごとの応募状況をお伝えします。
定員に達している場合は「キャンセル待ち」となります。

Q3 セミナーの申込み後に受講者を変更することは可能ですか？

A

可能です。まずはお電話にてご連絡いただき、受講者変更届等に変更された方の受講者名（ふりがな）、生年月日等をご記入のうえ、FAX・メールにて送信してください。

Q4 受講料の支払い方法は？

A

開催の約1ヵ月前に送付させていただき請求書に振込先等を記載しておりますので、セミナー開始14日前までに、お振込みください。なお、振込手数料はお客様のご負担とさせていただきます。

Q5 申込みをキャンセルする方法は？

A

できるだけ早めに「キャンセル届」等にキャンセルの旨をご記載いただき、必ずFAX・メールにてご連絡ください。なお、セミナー開始14日前（土・日・祝日を含む）までにキャンセル手続きされた場合は受講料を返金いたしますが、それ以降のキャンセルについては返金できませんのでご注意ください。

Q6 昼食をとるところはありますか？

A

平日は食堂（学生ホール）をご利用いただけます。ただし、土日祝日は営業しておりません。

Q7 車でセミナー会場に行けますか？

A

施設内に無料駐車場がございます。

オーダーメイド型能力開発セミナーのご案内

貴社のニーズに合った社員教育をお手伝いします！

オーダーメイド型能力開発セミナーは、**貴社の社員教育に関するご要望（教育内容、日程、場所等）**に合わせて実施するものです。

「セミナーガイドに掲載された〇〇のコースを別日程で受けさせたい」というオーダーはもちろんのこと、「こんな技術が学べる研修をしたい」、「こんな課題を解決できる研修をしたい」など、貴社のご要望に応じた教育カリキュラムを提案させていただきます。ただし、カリキュラムの策定にあたっては、当大学校の規定に準拠するように調整させていただく場合があります。

以下のような場合は、ぜひオーダーメイド型能力開発セミナーをご利用ください。

■ 社員教育を実施したいが

- 本セミナーガイドに掲載されているセミナーを受講させたいが、日程が合わない。
- 社員教育を行いたい、当大学校のレディメイド型セミナーに適切なコースがない。
- 自社の教育ニーズに合った研修を実施したい。
- 自社の施設・設備を使用して研修を実施したいが、講師がいない。 等々

ご相談から実施までの流れ

相 談

貴社のご要望（教育内容、日程、場所など）をお伺いします。

なお、能力開発セミナーとして実施するには訓練時間 12 時間以上(1 日 6 時間として 2 日間以上)です。定員は基本的に5名以上となります。

ご 提 案

ご要望に応じて教育カリキュラムを作成し、ご提案します。

訓練内容、実施日程、受講者数を確定したのち、見積書をご提案します。

実 施

実施場所は原則として当大学校となりますが、内容によっては講師派遣により貴社指定施設での出張セミナーとして実施することもできます。

オーダーメイド型能力開発セミナーの対応分野

機 械 系

機械加工、NC 加工、機械設計 (CAD・CAM・CAE)、精密測定、材料試験等

電 気 ・ 制 御 系

高圧受電設備技術、省エネ・太陽光発電設備技術、電気安全、シーケンス制御、コンピュータ制御、自動化システム技術、フィードバック制御等

電 子 ・ 情 報 通 信 系

電気・電子回路技術、CAD / CAM 技術 (回路設計技術)、計測技術、プログラミング言語・技法、システム設計、データベース、信号処理・画像処理、通信・ネットワーク、組込み技術等

建 築 系

建築計画 (法規、省エネ、リノベーション)、建築設備 (環境、空調、電気、給排水設計)、建築構造・施工 (保有耐力、限界耐力設計、時刻歴地震応答解析、新構造物の開発・性能実験) 等

管 理 系

生産管理、品質管理、工程管理、原価管理、現場改善、ヒューマンエラー対策、コーチング等



お問合せ先



援助計画課

近畿職業能力開発大学校

TEL 072-489-2114 FAX 072-479-1751

E-mail : kinki-seisan@jeed.go.jp

オーダーメイド型能力開発セミナー実施実績

これまで、多くの企業・事業主団体からのご要望にお応えし、下記のようなオーダーメイド型能力開発セミナーを実施しています。

【実施事例 1】

コース名「設計・施工管理に活かす溶接技術」
セミナー形態：オーダーメイドセミナー



企業：サノヤテクノサポート株式会社様
実施場所：近畿職業能力開発大学校

【企業・事業主団体の声】

当社では、技術系大卒新入社員のオンボーディングを目的に、入社後半年間に渡り技術研修を行っています。期間中は、電気・制御・機械についての知識や、ものづくりに関する技術をより実践的に学べる近畿職業能力開発大学校のレディメイドおよびオーダーメイドセミナーを利用させていただきました。

特にオーダーメイドセミナーでは、カリキュラム・日程等当社要望にもきめ細かくご対応いただきましたので、新入社員にとっても半年間の研修が非常に有意義なものとなったと確信しています。
(2024年5月)

【実施事例 2】

コース名「現場の安全確保（5S）と生産性向上」
セミナー形態：出張型オーダーメイドセミナー



企業：岸和田製鋼株式会社様
実施場所：岸和田製鋼株式会社様

【企業・事業主団体の声】

当社では、職場リーダー及びその候補者を選抜し、「職場リーダー実践力強化」研修で実施いたしました。

まずは、当社の製造現場の中身を講師に見学していただき、そのうえで現場リーダーの役割、行動を教育・指導していただきました。セミナー受講により、受講者の意識づけ、気づきを促すことができました。

これからも、研修体系の一環として本研修を活用させていただきます。

(2024年10月)

【実施事例 3】

コース名「高能率・高精度穴加工技術＜ドリル・リーマ加工の理論と実際＞」
セミナー形態：出張型オーダーメイドセミナー



事業主団体：一般社団法人神戸市機械金属工業会様
実施場所：公益財団法人神戸市産業振興センター様

【企業・事業主団体の声】

当会では、平成25年から近畿職業能力開発大学校様にご協力を頂き、中小製造業向けの研修を提供しています。例年、新年度向け研修ニーズアンケートに基づき会員企業へヒアリングを実施し、機械技術系や管理系セミナーを会員の要望に合わせて開講しています。どの研修も熱心な講師と、様々な趣向を凝らした講義内容で、会員企業からも多くの嬉しい声を頂戴しています。様々な企業と一緒に参加するオーダーメイド型研修のため、会員企業間の交流にもつながり、スキルアップと意識の向上にも役立っています。

(2024年8月)

技術支援のご案内

技術的な課題を一緒に解決しましょう！

近畿職業能力開発大学校では、技術改良・改善、新技術や先端技術の導入、製品開発等に係る技術支援を行っています。技術的問題をお持ちの場合は、ご相談ください。

共同研究として取り組んだ事例

共同研究は、製造上のトラブルや技術改良・改善、新技術や先端技術の導入、製品開発等、企業が抱える技術的な課題について、企業と当大学校の教員とが共同して研究を行うものです。

1. 建築構造物のモニタリング技術を活用した計測技術の開発 [令和5年度]

建築構造物のモニタリング技術とは、構造物にセンサを設置して振動等の物理量を観測し（センシング）、様々な信号処理手法を駆使して、蓄積された損傷や劣化の発生箇所及び度合いについて動的に診断し、今後の進展状況について予測する技術（診断・予測）です。新築・既存の構造物に、センサを設置し、応答波形から構造性能を診断する技術のことである。計測機器の設置にあたっては、建物の構造特性について詳細に検証し、建物の構造性能を診断するために必要な部材適切に選択する必要があるため、建物施工計画に沿って適切な時期に計測機材の設置を行いました。2021年に計測機材設置した建物の建設地近郊で震度2程度の地震が発生し、そのデータを入手することができました。小さいながらも実地震動の記録を分析し、データを活用することでBCP（事業継続計画）への貢献が期待出来る技術と考えております。



写真 設置した計測機材の一部



写真2 計測建物の建設状況（2023年）

2. 令和5年度共同研究実績

- 建築構造物としての竹材の防虫防腐処理の確立と材料強度に及ぼす影響および竹集成材の構造性能に関する研究
- 建築構造物のモニタリング技術を活用した計測技術の開発
- 社寺建築物における板壁・土塗壁を有する木造軸組架構の構造的評価に関する実験的研究
- スマート農業に関する圃場への遠隔監視システムの開発
- ディスプレイスタンド等の強度・耐震性能向上手法に関する開発
- 加工現場における温度補正機能を有した真円度形状寸法測定機の開発



お問合せ先



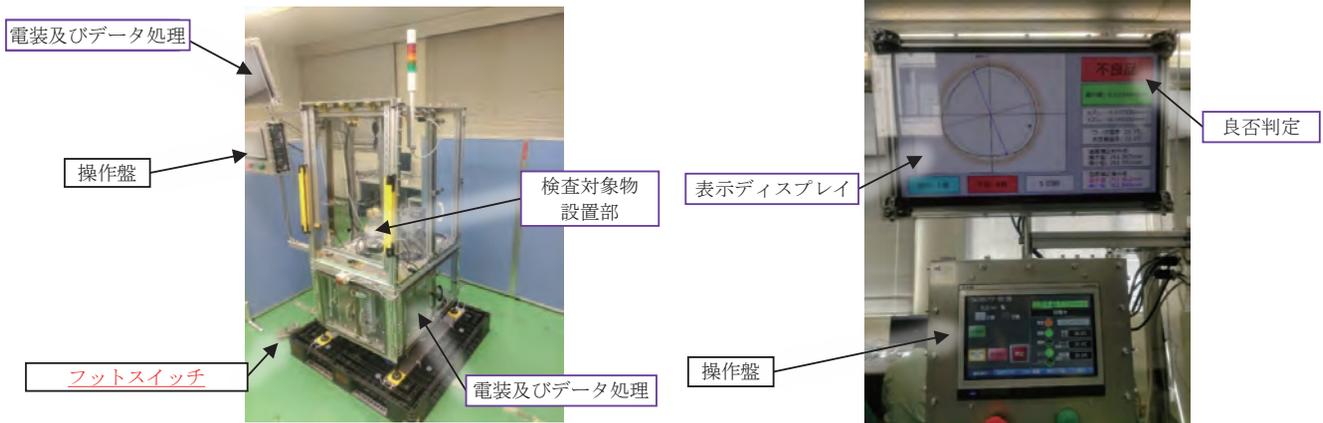
近畿職業能力開発大学校
援助計画課 TEL 072-489-2114 FAX 072-479-1751

開発課題として取り組んだ事例

企業が抱える技術的な課題を、当大学の学生とともに開発課題（応用課程の卒業研究）テーマとして設定し、一緒に取り組むことがあります。企業の技術的課題を解決するとともに、当校学生が自らの技能・技術を向上させ、問題解決能力等を習得する機会にもなっています。

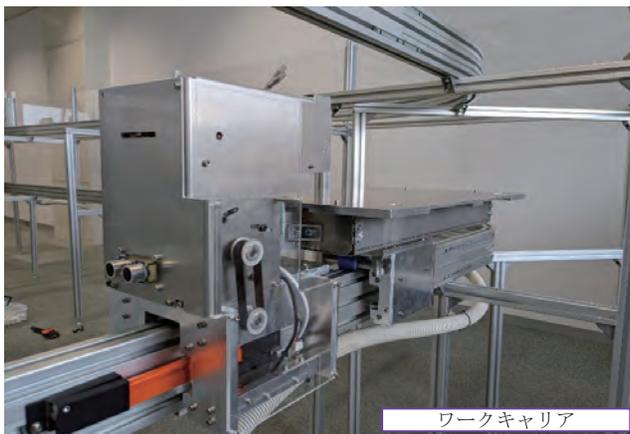
1. 真円度形状寸法測定機の開発 [令和5年度]

日本の製造業では人材不足が深刻化しており、特に中小企業では生産ラインの維持が大きな課題となっています。若年層の就職率が低下し、離職率が上昇する中、各企業は工程の自動化を進めることで人手不足に対応しています。単純作業をロボットが代替し、検査工程には専用機器を導入するなど、製品の品質維持に努めています。今回の課題は、現場で真円度や寸法を高精度に測定できる専用装置の開発です。企業様からの問題点や要望を聞き取り、現場の状況を見学した結果、温度変化に対応できる真円度・寸法測定装置を開発しました。この装置は変位センサを用いた比較測定方式を採用しており、企業様から提供された良品を基準とすることで、閾値を設けて測定と良否判定が可能な仕組みとなっています。次年度は、この装置に鑄巣検知機能を追加し、現場のラインで運用する計画です。鑄巣の発見により、さらなる品質管理の精度向上と効率化が期待されます。



2. 自走型工程間搬送システムの開発 [令和5年度]

本課題では工場内生産設備を主力製品とする企業から低廉なワーク搬送システムの実現要望を受けて製品開発を行いました。開発した製品はユーザーが工場内で任意に配置した工程の間でワークを水平搬送するシステムで農業資材や農産物の運搬用に広く利用されている単軌条運搬機と類似した装置です。単軌条運搬機は地表面近くに設置した軽量形鋼を走行用レールとし、これに跨座して走行します。農業機械においては動力としてエンジンを用いた比較的大型のものが多いですが、本課題では小型化ならびに電子制御化を施し、工場生産ラインでの利用に適した設計を目指しました。



事業主推薦制度のご案内

社員の方にポリテクカレッジ（2年間）へ入校いただき、長期の人材育成を行う、それが『**事業主推薦制度**』です。

事業主推薦制度の概要

● **対象者** 事業主が推薦する方で、次の（１）、（２）のいずれかの条件を満たす方

【専門課程】

- （１）学校教育法による高等学校又は中等教育学校を卒業した者（卒業見込の者も含む）
- （２）上記（１）と同等以上の学力を有すると認められる者

【応用課程】

- （１）専門課程の高度職業訓練を修了した者（応募科と同系に限る）
- （２）実務経験その他により専門課程の高度職業訓練を修了した者と同等以上の技能及びこれに関する知識を有すると認められる者



● **経費**

	入校料（初年度）	授業料（年間）	テキスト代等（※）
専門課程	169,200円	390,000円	5万円～10万円程度
応用課程	112,800円	390,000円	5万円～10万円程度

（※）テキスト代等は訓練科によって異なります。

● **制度利用の流れ**

事業主推薦制度は国の助成金「人材開発支援助成金」が利用できます！



企業 Company

- 普通高校を卒業した社員にじっくりと教育訓練を受けさせたい
- 若手社員に基礎から学ばせ、技術力を高めさせたい
- 将来、現場の責任者となるような人材を育てたい

社員をポリテクカレッジへ

入社1～3年目の若手社員の方へ

基礎から応用まで しっかり学べる

専門課程
基礎からしっかり学び、現場に即した実習に取り組むことにより、現場に対応できる実践力が身につきます！

募集科
生産機械技術科
電気エネルギー制御科
電子情報技術科
住居環境科

各2年間の訓練

入社3～10年目の若手社員の方へ

ものづくりの一連の流れを理解できる

応用課程
基本的な仕組みを理解した上で、企画・設計・製作のプロセスを体験し、応用力や分析力が身につきます！

募集科
生産機械システム技術科
生産電気システム技術科
生産電子情報システム技術科
建築施工システム技術科

修了後のイメージ Future Image

各部門の架け橋となる人材（実践技能者）
ものづくり現場のプロフェッショナル

お問合せ先

近畿職業能力開発大学校
学務課 TEL 072-489-2112

各種支援制度のご案内

能力開発セミナーの受講にあたり、以下の各種制度が活用できる場合があります！

- 注1) 各種支援制度は、令和6年12月時点のもので、制度の廃止・変更等が行われる場合があります。ご利用の際は、各行政機関のお問い合わせ先にご確認ください。
- 注2) 他の行政機関等についても、同様の支援制度を実施している場合がありますので、詳しくは事業所が所在する市役所、ハローワーク、労働局等にお問い合わせください。
- 注3) 当大学校で実施している能力開発セミナー（在職者訓練）は、高度職業訓練の専門短期課程に該当します。

大阪労働局 ～人材開発支援助成金のご案内～

事前に所定の届出手続きを行った中小企業事業所に対して、人材開発支援助成金による訓練経費や訓練期間中の賃金の一部等の助成の活用ができる場合があります。（助成対象となる訓練コースには、訓練時間数等の要件があります。）

※詳しい申請要件・方法、必要な申請書類等は、厚生労働省ホームページ又は下記問い合わせ先にご確認ください。

大阪労働局助成金センター TEL 06-7669-8900

◎申請様式等のダウンロードなどはWEBでも実施できます。 [人材開発支援助成金](#)



岸和田市 ～「がんばる岸和田」企業経営支援補助金(区分：人材育成)のご案内～

岸和田市では、市内の中小企業や中小企業交流団体が、そこに勤務する役員または従業員に対して実施する研修事業について、費用の一部を補助しています。

岸和田市魅力創造部産業政策課 事業者支援担当

TEL 072-423-9485



和泉市 ～中小企業振興対策事業補助のご案内～

和泉市では、さまざまな経営課題にチャレンジしている中小企業者を応援しています。事業主または従業員が対象の外部機関で行う研修等の修了に要した費用を補助します。

和泉市役所環境産業部産業振興室商工観光担当 TEL 0725-99-8123

富田林市 ～中小企業人材育成事業補助（研修機関派遣）のご案内～

富田林市では、本店を市内に有する中小企業者等が、研修のため市内で勤務する役員または従業員を市が規定する研修機関に派遣する場合、受講料の一部を補助しています（事前申請が必要となります）。

富田林市産業まちづくり部商工観光課 TEL 0721-25-1000

八尾市 ～意欲ある事業者経営・技術支援補助金制度のご案内 (パワーアップサポート)～

八尾市では、市内の中小企業又は中小企業交流団体が、新製品・技術開発、製品・技術のため等に要した費用の一部を補助しています。

八尾市役所 産業政策課 TEL 072-924-9356

大東市 ～中小企業人材育成支援補助金制度のご案内～

大東市では、市内の中小企業者に対して従業員の、①後継者育成、②人材スキルアップを目的とした、大学及び公的機関等による各種研修の受講料の補助をしています。

大東市役所 産業・文化部 産業経済室 商工・労働グループ TEL 072-870-4013

交野市 ～産業人材育成事業のご案内～

交野市では、技術・商品等の開発や経営力の強化等に関する研修会、講座等の受講に掛かる費用の一部を補助しています。

交野市役所地域振興課 TEL 072-892-0121

生産性向上支援訓練のご案内

「生産性向上支援訓練」とは、企業・事業主団体の生産性を向上させるための職業訓練です。

ポリテクセンター関西に設置した生産性向上人材育成支援センターが、専門的な知見とノウハウを持つ民間機関等に委託し、ものづくり分野だけでなく、あらゆる業種の中小企業等の課題やニーズにあわせ、さまざまな内容・分野の幅広い職務階層の方を対象としたカリキュラムで、従業員の労働生産性向上をお手伝いします。

能力開発セミナーと併せて、生産性向上支援訓練の活用もご検討ください。

生産性向上支援訓練とは

目的	組織の生産性向上に係る課題解決のための知識や技能・技術を習得することを目的としています。
訓練内容	流通、物流、IoT、クラウド、マーケティング等、企業の生産性の向上に効果的な管理・改善やその技法に関する訓練です。
対象者	会社からの指示により受講される方（個人での受講はできません。）
講師	専門的な技能やノウハウを持つ民間機関等が訓練を担当します。
日程・時間	訓練時間は、4時間～30時間の間で、ご要望に合わせて設定できます。夜間・土日の訓練や、一日あたりの訓練時間が短時間の設定も可能です。
会場	お客様の自社会議室や外部の施設など、ご要望に合わせて設定できます。オンライン受講も可能です。
定員	6名～30名を標準とします。
受講料	訓練時間に応じて、1人あたり2,200円（税込）～6,600円（税込）です。

- 生産性や品質管理について学びたい。
- 業務プロセスを改善して効率性を高めたい。
- RPA・DX等の新技術を導入・活用したい。

- 従業員の仕事の効率化を促進したい。
- プロジェクトの管理手法を学びたい。
- 中堅・ベテラン従業員の持つ技術やノウハウを後輩の従業員に継承させたい。

- 顧客の拡大や満足度の向上を図りたい。
- マーケティングや戦略について学びたい。
- 新しい企画や開発について学びたい。

- データ処理の作業を効率化したい。
- データを業務改善に活用したい。
- 集客につながるHPを作成したい。

生産・業務プロセスの改善

- 生産現場の問題解決
- 品質管理基本/実践
- 在庫管理システムの導入
- DXの導入 など

横断的課題

- 職場のリーダーに求められる統率力の向上
- 効果的なOJTを実施するための指導法 など

売上げ増加

- 提案型営業手法/実践
- インターネットマーケティングの活用 など

IT業務改善

- 業務に役立つ表計算ソフトの関数活用
- 表計算ソフトのマクロによる定型業務の自動化 など

※上記のほか、企業・団体の生産性向上に関する様々な課題の解決や現場力の強化に関するカリキュラムをご用意しています。

お問い合わせ **ポリテクセンター関西 生産性センター業務課**

TEL.06-7670-7007 FAX.06-6383-0961

E-mail : kansai-seisan@jeed.go.jp

■生産性センターのご案内ページへ▶



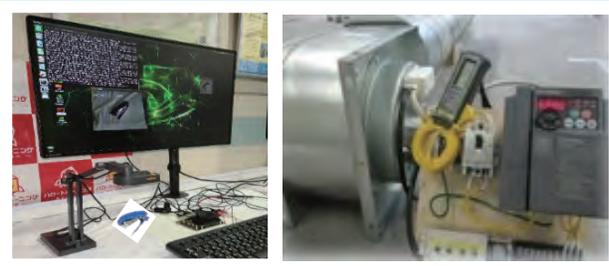
さらなる スキルアップ

を目指すなら

高度 ポリテク センター



実習例



- ◆ 年間約700コースの豊富なカリキュラム
- ◆ 経験豊富な講師陣による実践的な研修内容

社員教育の一環として
ご利用ください！

人気コースの一例

詳しくは、公式サイトまたは当センターのコースガイドをご覧ください

- 金属材料の腐食対策
- カーボンニュートラルに向けた機械設計の進め方
- 電子回路から発生するノイズ対策技術
- AI・画像処理技術<集中育成コース>
- データサイエンス技術<集中育成コース>

お問合せ先

043-296-2582(事業課)

〒261-0014

所在地

千葉県千葉市美浜区若葉3-1-2

E-mail

kodo-poly02@jeed.go.jp



公式サイト



X (旧Twitter)



YouTube



施設・設備利用のご案内

企業・事業主団体の皆様が行う教育訓練や研修の場として、当大学の施設・設備の開放を行っています。

主な研修室・実習場（例）



視聴覚ホール

- ・約 300 人を収容可能、講演会等に最適です。
- ・利用料金は 1 時間あたり 600 円～1,750 円で、冷暖房の有無によって異なります。



大研修室

- ・2 室をつないで利用する大研修室には、約 60 人を収容可能、研修会に最適です。
- ・利用料金は 1 時間あたり 600 円～950 円で、冷暖房の有無によって異なります。
- ・他に小・中の研修室があり、利用料金は 300～500 円です。



機械実習場

- ・旋盤やフライス盤等、各種機械加工機が整備されている実習場です。
- ・利用料金は 1 時間あたり 550 円～1,050 円で、暖房の有無によって異なります（機器使用料は別）。

主な訓練用機器（例）



NC 旋盤

- ・利用料金は 1 時間あたり 600 円です。



3次元測定器

- ・利用料金は 1 時間あたり 450 円です。



万能試験機

- ・建築材料をテストする万能試験機で、利用料金は 1 時間あたり 250 円です。

【ご利用にあたって】

- ① 上記の他に利用できる施設・設備も多数ありますので、詳細はお問い合わせください。
- ② 利用時間は原則として 9:00～20:00（土日祝日は原則 9:00～16:30）です。
- ③ 1 時間単位でのご利用となります。1 時間に満たない端数は切り上げとなります。
- ④ 警備員費を別途ご負担いただきます。
- ⑤ 当大学校指導員の指導・監督が必要となる場合は、講師料を別途ご負担いただきます。
- ⑥ 訓練機器の利用時に必要となる消耗品は、利用者にてご準備ください。
- ⑦ 利用料金は、令和 6 年 12 月時点のもので、変更等が行われる場合があります。



お問合せ先



援助計画課

近畿職業能力開発大学校
TEL 072-489-2114 FAX 072-479-1751

2025 年度 能力開発セミナー受講申込書

近畿職業能力開発大学校
能力開発セミナー担当 行

FAX : 072-479-1751

E-mail : kinki-seisan@jeed.go.jp

受付 NO (機構使用欄)	
------------------	--

次のセミナーについて、訓練内容等を確認のうえ、申し込みます。

年 月 日

コース番号	コース名	コース開始日	ふりがな 受講者氏名	生年月日 (西暦)	就業状況 (※4)	備考 (関連する経 験年数)
		月 日	男・女	年 月 日	<input type="checkbox"/> 1. 正社員 <input type="checkbox"/> 2. 非正規雇用 <input type="checkbox"/> 3. その他	
		月 日	男・女	年 月 日	<input type="checkbox"/> 1. 正社員 <input type="checkbox"/> 2. 非正規雇用 <input type="checkbox"/> 3. その他	
		月 日	男・女	年 月 日	<input type="checkbox"/> 1. 正社員 <input type="checkbox"/> 2. 非正規雇用 <input type="checkbox"/> 3. その他	
		月 日	男・女	年 月 日	<input type="checkbox"/> 1. 正社員 <input type="checkbox"/> 2. 非正規雇用 <input type="checkbox"/> 3. その他	
		月 日	男・女	年 月 日	<input type="checkbox"/> 1. 正社員 <input type="checkbox"/> 2. 非正規雇用 <input type="checkbox"/> 3. その他	

- ※1 応募者が少ない場合はコースを中止させていただく場合があります。また、やむを得ず日程を変更する場合がありますので予めご了承ください。
- ※2 コース開始日14日前(土日・祝祭日含む)を過ぎてからのキャンセルは受講料を全額ご負担いただきます。
- ※3 納入された受講料を他のコースへ振り替える(流用)ことはできません。
- ※4 就業状況の非正規雇用とは、一般的にパート、アルバイト、契約社員などが該当しますが、様々な呼称があるため、貴社の判断で差し支えありません。
- ※5 セミナーを実施するうえでの参考とさせていただくため、今回、お申込みされたコース内容に関連した職務経験、資格、教育訓練受講歴等をお持ちの方は、差支えない範囲で[備考]欄にご記入下さい(例: 切削加工作業に約5年間従事→5年)。

ID (機構使用欄)	
---------------	--

法人名			事業 所名		
法人番号			(法人番号がない場合は、以下の該当に○印)		
			1. 団体 2. 個人事業主 3. 個人		
所在地	〒	—	業 種 (該当に○印)	A. 農業、林業 B. 漁業 C. 鉱業、採石業、砂利採取業 D. 建設業 E. 製造業 F. 電気・ガス・熱供給・水道業 G. 情報通信業 H. 運輸業、郵便業 I. 卸売業、小売業 J. 金融業、保険業 K. 不動産業、物品賃貸業 L. 学術研究、専門・技術サービス業 M. 宿泊業、飲食サービス業 N. 生活関連サービス業、娯楽業 O. 教育、学習支援業 P. 医療、福祉 Q. 複合サービス事業 R. サービス業 S. 公務 T. 分類不能の産業	
企業規模 (該当に○印)	<input type="checkbox"/> 1~29人 <input type="checkbox"/> 30~99人 <input type="checkbox"/> 100~299人 <input type="checkbox"/> 300~499人 <input type="checkbox"/> 500~999人 <input type="checkbox"/> 1000人以上				
申込担当者名 (※1)	所属部署		TEL		FAX
	担当者名		メール		
受講区分 (該当に○印)	<input type="checkbox"/> 会社からの指示による受講 (※2) <input type="checkbox"/> 個人で自己受講				

- ※1 受講可否等の連絡先となりますので、必ずご記入をお願いします。
- ※2 受講区分の「会社からの指示による受講」を選択された場合は、受講者が所属する会社の代表者の方(事業主、営業所長、工場長等)にアンケート調査へのご協力を願っております。

個人でお申し込みの方で、ご自宅へ書類を郵送希望される場合は、必ずご記入下さい。

住 所	〒	—	TEL	
			FAX 又は メール	

【個人情報の取扱いについて】

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構は「個人情報の保護に関する法律」(平成15年法律第57号)を遵守し、保有個人情報を適切に管理し、個人の権利利益を保護いたします。当機構では、必要な個人情報を、利用目的の範囲内で利用させていただきます。ご記入いただいた個人情報は在職者訓練の受講に関する事務処理(連絡、修了証書の交付、修了台帳の整備)及び業務統計、当機構の能力開発業務に関する案内に利用させていただきます。受講区分「会社からの指示による受講」を選択された方は、申込担当者様あてに送付いたします。

お問い合わせ先

近畿職業能力開発大学校 援助計画課 TEL 072-489-2114

〒596-0817 大阪府岸和田市岸の丘町 3-1-1

機 構 使用欄	<input type="checkbox"/> 入力 (/)	<input type="checkbox"/> 受理 (/)	<input type="checkbox"/> 受講 (/)
------------	-----------------------------------	-----------------------------------	-----------------------------------

*コピーしてご使用下さい。

能力開発セミナーキャンセル・受講者変更届

近畿職業能力開発大学校

FAX:072-479-1751

能力開発セミナー担当 行

E-mail:kinki-seisan@jeed.go.jp

- ・ 申込担当者の連絡先をご記入ください。 (個人でお申し込みの場合は日中ご連絡がとれる電話番号をご記入ください)

会社名		電話番号	
申込担当者	(部署名) (氏名)	FAX番号 E-mail	

- 下記のコースに申し込みましたが、都合により下記のとおり**キャンセル**いたします。

コース番号	コース名	開始日	受講者氏名	受講料
		月 日		<input type="checkbox"/> 未振込 <input type="checkbox"/> 振込済 (振込日 月 日)
		月 日		<input type="checkbox"/> 未振込 <input type="checkbox"/> 振込済 (振込日 月 日)

(注意) コース開始14日前(土日・祝祭日含む)を過ぎてからのキャンセルは受講料を全額ご負担いただきます。

お電話でのご連絡後、必ずこの届をFAXまたはE-mailで送付願います。

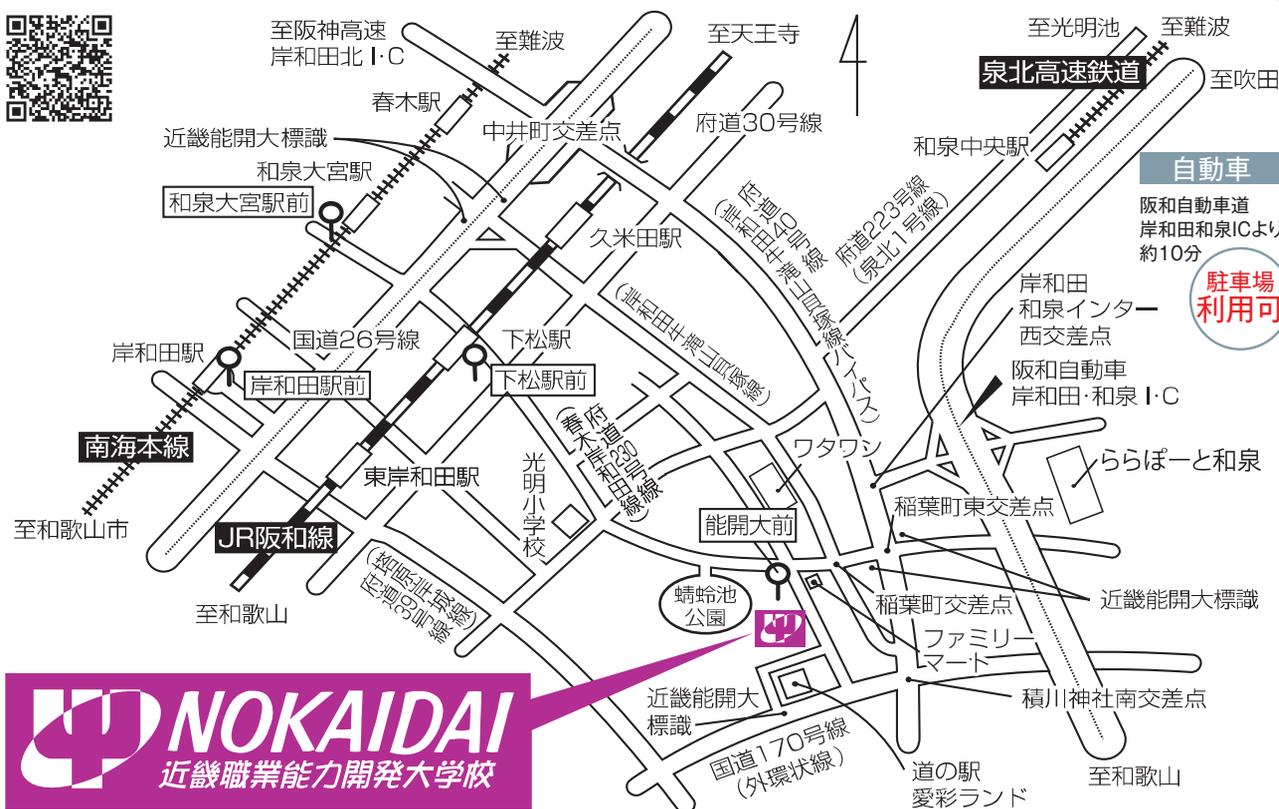
- 下記のとおり、**受講者の変更**をいたします。

コース番号	コース名	開始日	ふりがな 受講者名(変更前)	ふりがな 受講者名(変更後)	生年月日 (西暦)
		月 日		男・女	
		月 日		男・女	

※ご記入いただいた情報は能力開発セミナーの受講に関する事務処理(キャンセル・受講者変更)に利用させていただきます。



ハロートレーニング
急がば学べ



自動車
阪和自動車道
岸和田和泉ICより
約10分
**駐車場
利用可**

JR下松駅より

南海バス「道の駅愛彩ランド」行き
「職業能力開発大学校前」下車すぐ

所要時間
約20分

(参考) 平日バス時刻表
行き「JR下松駅」発 8:17 9:03
帰り「職業能力開発大学校前」発 17:06 17:51

南海岸和田駅より

南海バス「道の駅愛彩ランド」行き
「職業能力開発大学校前」下車すぐ

所要時間
約30分

(参考) 平日バス時刻表
行き「南海岸和田駅」発 8:07
帰り「職業能力開発大学校前」発 17:06 17:51

泉北高速鉄道 和泉中央駅より

南海バス「道の駅愛彩ランド」行き
「職業能力開発大学校前」下車すぐ

所要時間
約20分

(参考) 平日バス時刻表
行き「和泉中央駅」発 9:05
帰り「職業能力開発大学校前」発 17:16 17:46

※JR下松駅発、南海岸和田駅発、泉北高速鉄道 和泉中央駅発および職業能力開発大学校前発の平日バス時刻表は2024.12現在のものです。



能力開発セミナー

『社員教育を実施したい!』
『技術のレベルアップをしたい!』

近畿能開大では、機械、電気・制御、電子・情報通信、建築、管理系の教育訓練コースを多数、ご用意しています。



技術支援

『技術的な課題を
一緒に解決しましょう!』

企業で悩んでいる技術的な課題について、企業と近畿能開大と一緒に解決します。



施設・設備の開放

『近畿能開大の施設・設備を
利用できます!』

企業や事業主団体の研修に近畿能開大の教室や機器等をご利用ください。

【お問合せ先】

近畿職業能力開発大学校

〒596-0817 大阪府岸和田市岸の丘町3-1-1
援助計画課 TEL(072)489-2114 FAX(072)479-1751
<https://www3.jeed.go.jp/osaka/college/>